

# 2022年度決算および中計進捗説明会

2023年6月1日

【証券コード 4401】



# 2022年度 決算説明

通期

2022年4月1日～2023年3月31日

代表取締役社長 城詰 秀尊

- 1. 2022年度 連結業績 … P3
- 2. 2023年度 連結業績予想 … P14
- 3. 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況 … P20

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including squares, triangles, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

# 1. 2022年度 連結業績

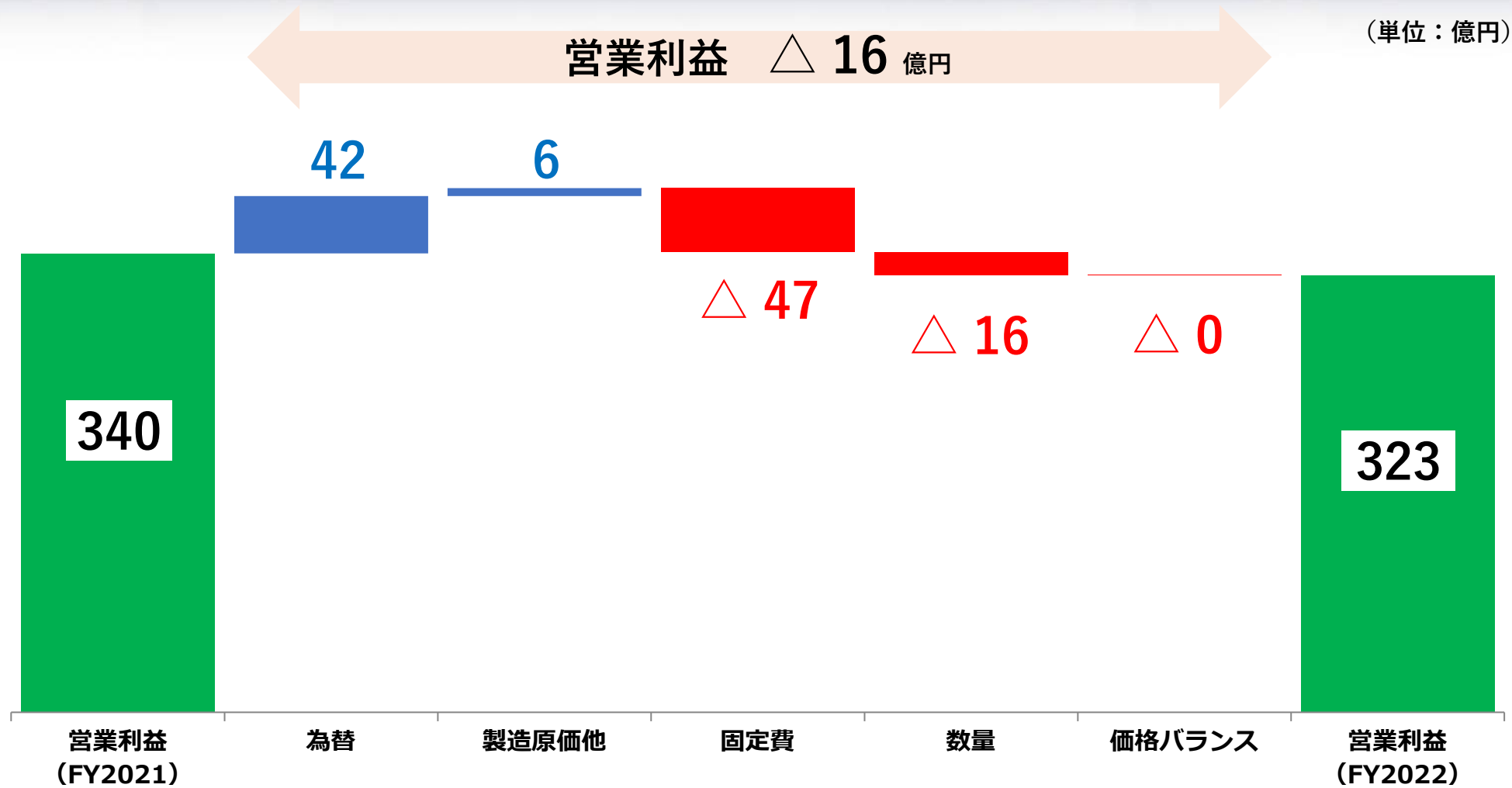
(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減	増減率 (%)
売上高	3,612	過去最高更新 4,033	421	11.7
営業利益	340	323	△ 16	△ 4.9
経常利益	356	325	△ 30	△ 8.6
当期利益	236	減損損失 ▲ 37.5 億円 167	△ 69	△ 29.2
1株利益	229.6円	163.3円	△ 66.3円	

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

# 営業利益の増減分析

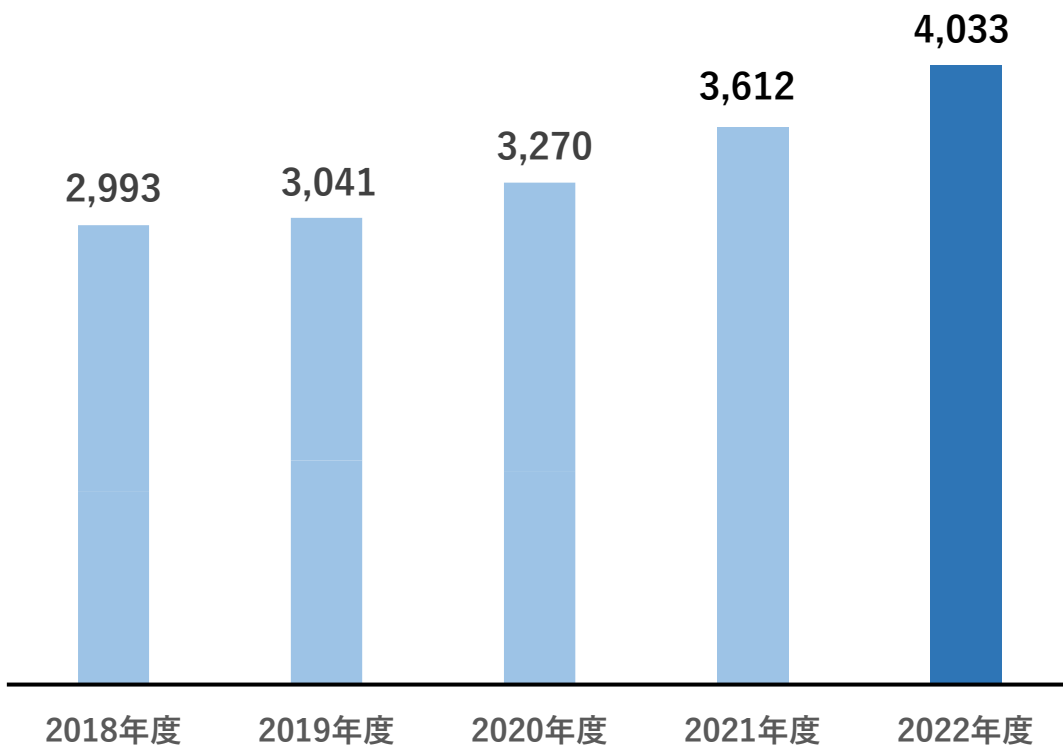


注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

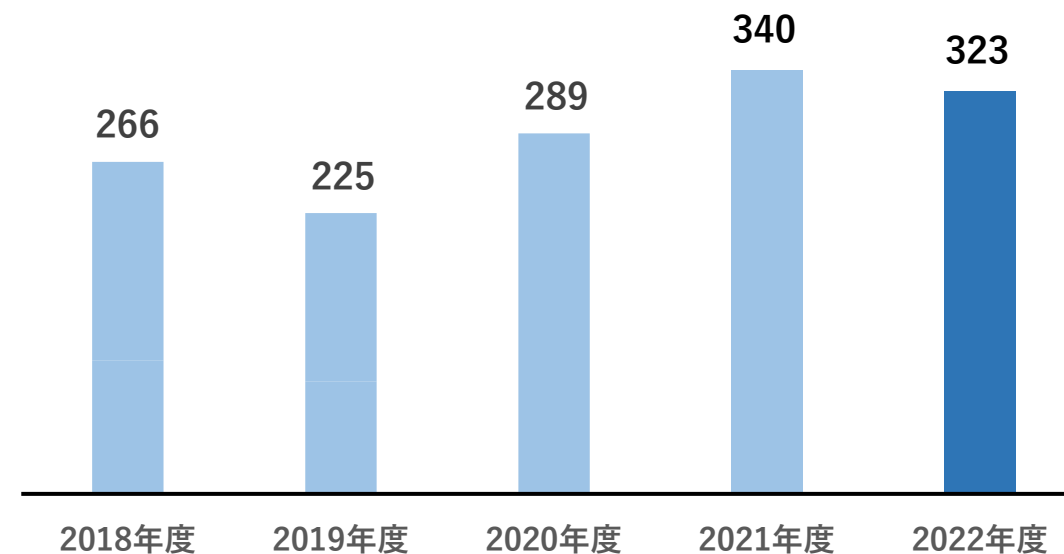
注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

(単位：億円)

## 売上高



## 営業利益



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

## 2022年度 連結業績 (セグメント別)

(単位：億円)

	2021年度	2022年度	増減	増減率 (%)
売上高	3,612	4,033	421	11.7
化学品	2,001	2,117	116	5.8
樹脂添加剤	1,068	1,113	44	4.2
情報・電子化学品	364	363	△ 0	△ 0.2
機能化学品	567	640	72	12.8
食品	733	825	91	12.5
ライフサイエンス	801	1,020	219	27.4
その他	76	70	△ 6	△ 8.6
営業利益	340	323	△ 16	△ 4.9
化学品	293	262	△ 30	△ 10.5
樹脂添加剤	108	92	△ 16	△ 14.9
情報・電子化学品	119	110	△ 8	△ 6.8
機能化学品	66	59	△ 6	△ 10.1
食品	▲ 6	▲ 24	△ 17	-
ライフサイエンス	48	77	29	62.3
その他	5	7	1	26.1

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

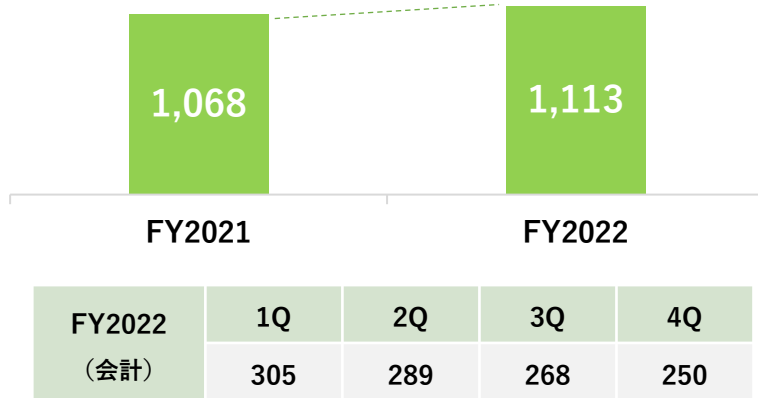


# 化学品事業（樹脂添加剤）

## ◆ 売上高

（単位：億円）

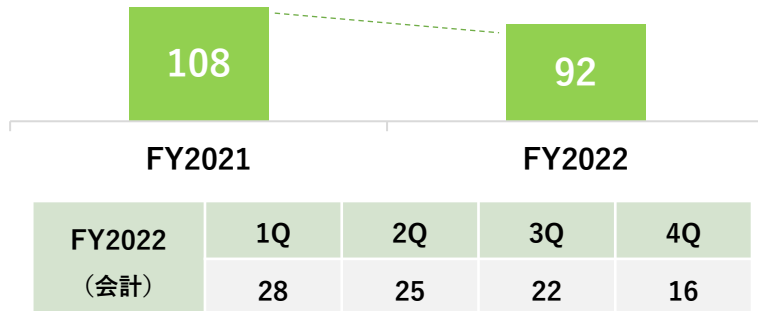
4.2%



## ◆ 営業利益

（単位：億円）

△ 14.9%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

### 売上高の主な要因（対前年度）

- ・北米で食品包装向けに採用が拡大し、透明化剤の販売が好調。
- ・自動車向け製品は販売数量が減少したものの、販売価格改定と為替で増収。

#### ◆ 食品包装・医療

好調 透明化剤

#### ◆ 自動車

伸長 核剤、ゴム用可塑剤

#### ◆ プラスチック製品全般

伸長 ワンパック顆粒添加剤

#### ◆ 建材・インフラ

低調 住宅内装材向け 塩ビ用安定剤

#### ◆ 家電（筐体）

低調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

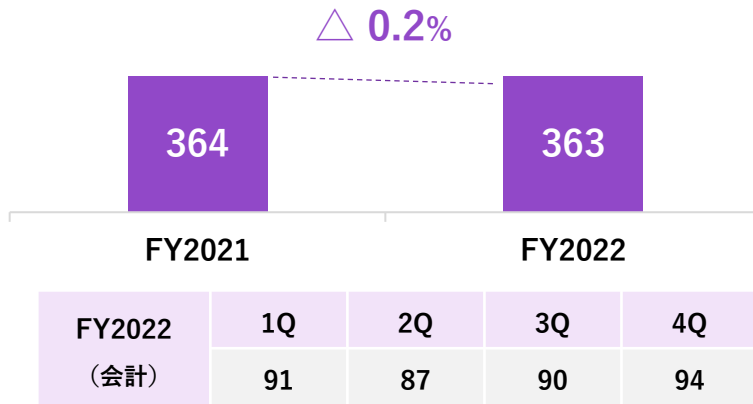
### 営業利益の主な要因（対前年度）

数量  
△ 29億円為替  
13億円

# 化学品事業（情報・電子化学品）

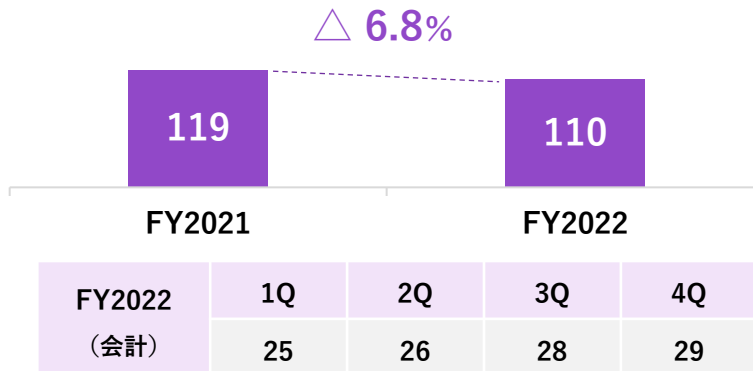
## ◆ 売上高

（単位：億円）



## ◆ 営業利益

（単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

### 売上高の主な要因（対前年度）

- ・半導体メーカーの減産の影響を受け半導体関連材料の販売が減少。
- ・先端半導体向けの高誘電材料や光酸発生剤の販売は拡大。
- ・パネルメーカーの大幅な在庫調整の影響を受け、ディスプレイ関連材料が大幅減。

#### ◆ 半導体

好調

DRAM向け 高誘電材料（新製品）

堅調

先端リソグラフィ用途 光酸発生剤  
NAND向け 製品

#### ◆ ディ스플레이

低調

光学フィルム向け 光硬化樹脂  
カラーフィルター向け 光重合開始剤  
液晶パネル向け ブラックマトリクスレジスト  
エッチング用薬液

### 営業利益の主な要因（対前年度）

数量

△ 13億円

価格バランス

△ 1億円

製造原価他

△ 1億円

為替

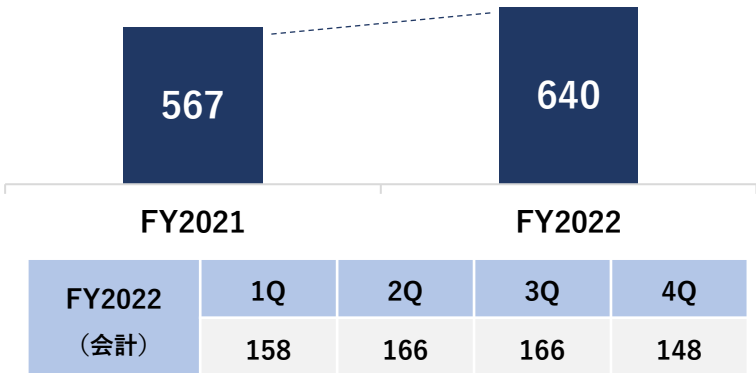
8億円

# 化学品事業（機能化学品）

## ◆ 売上高

（単位：億円）

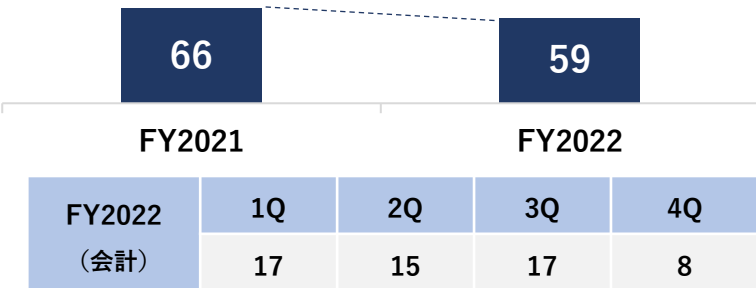
12.8%



## ◆ 営業利益

（単位：億円）

△ 10.1%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

### 売上高の主な要因（対前年度）

- ・ エンジンオイル用潤滑油添加剤が、海外での新規採用等により販売拡大。
- ・ 国内外の化粧品市況が持ち直し、界面活性剤の販売が回復基調。

#### ◆ 自動車

好調

エンジンオイル用 潤滑油添加剤

好調

構造接着用 特殊エポキシ樹脂

#### ◆ 建築

堅調

塗料向け 反応性乳化剤

#### ◆ 化粧品

堅調

界面活性剤

#### ◆ 一般工業用

低調

プロピレングリコール類、液晶パネル向け 過酸化製品

### 営業利益の主な要因（対前年度）

価格バランス

△ 7億円

固定費他

△ 7億円

数量

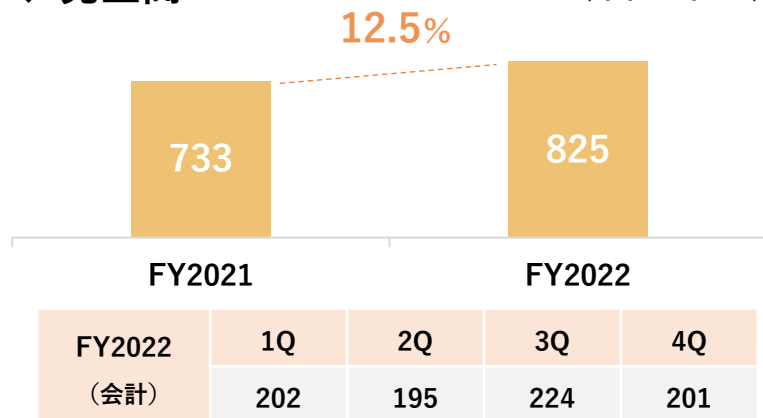
△ 3億円

為替

11億円

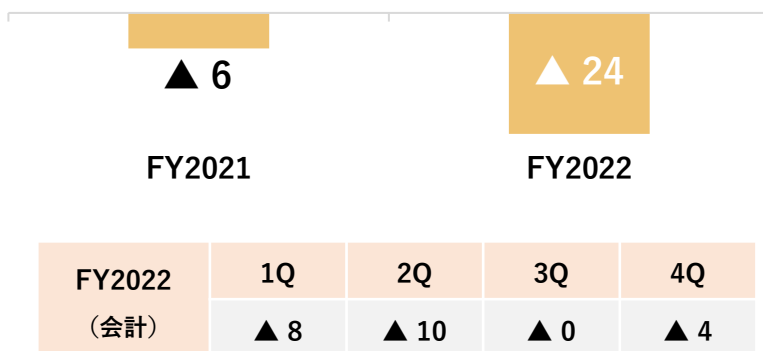
## ◆ 売上高

(単位：億円)



## ◆ 営業損失

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

## 売上高の主な要因 (対前年度)

- ・マーガリン、ショートニング類は最終商品のダウンサイジングにより販売数量が減少。
- ・前期から取り組む販売価格改定により増収。

### ◆ 製パン、製菓

**伸 長** 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

**低 調** マーガリン、ショートニング、フィリング

### ◆ 洋菓子・デザート

**低 調** ホイップクリーム

### ◆ 土産菓子

**好 調** フィリング

## 営業損失の主な要因 (対前年度)

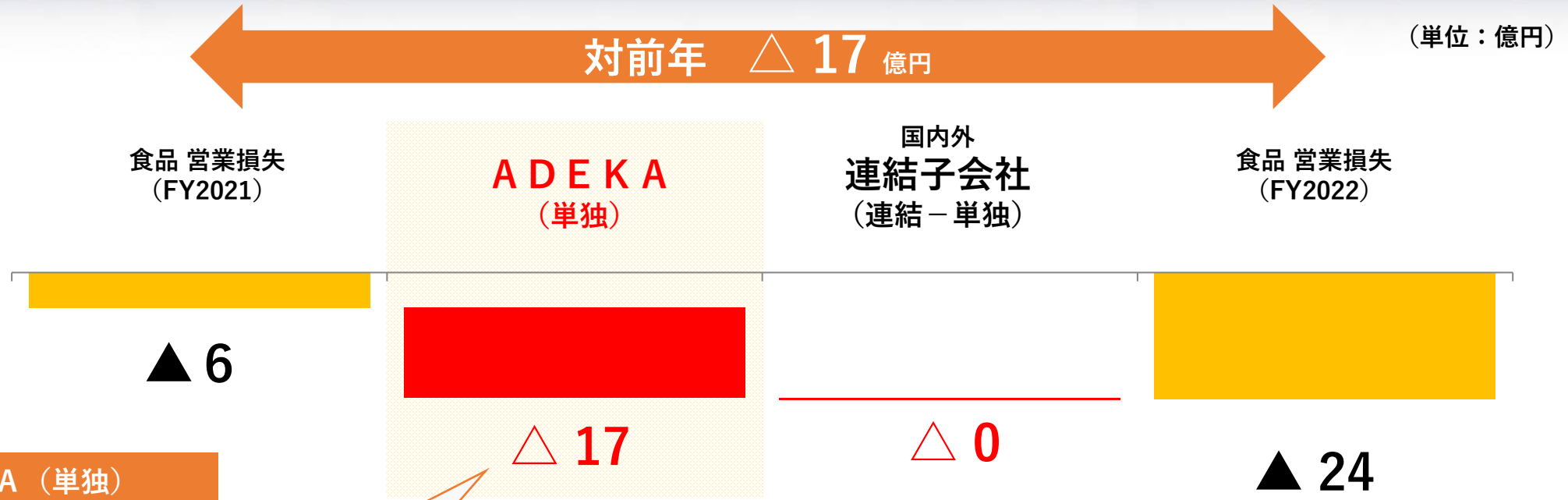
為替  
△ 12億円

数量  
△ 6億円

固定費他  
△ 2億円

価格バランス  
3億円

# 食品事業（営業利益の増減分析）



## ADEKA (単独)

国内の製パン、製菓、洋菓子・デザート市場がメイン

（単位：億円）

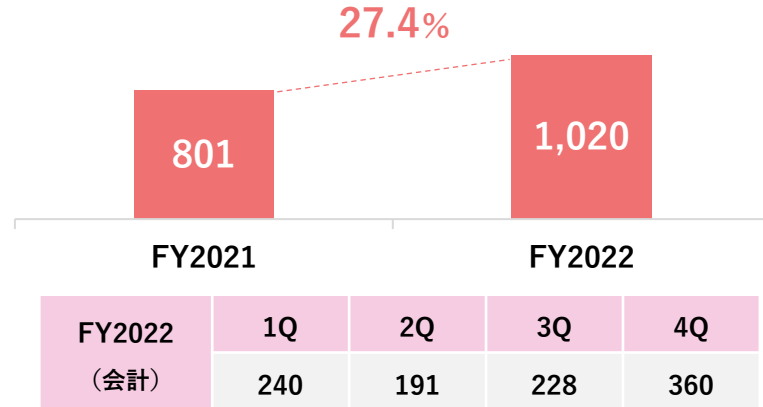
為替		数量		製造原価・固定費		価格バランス		
▲ 11	1Q	△ 3	1Q	△ 3	1Q	2	1Q	△ 7
	2Q	△ 3	2Q	△ 3	2Q	△ 0	2Q	△ 0
	3Q	△ 2	3Q	△ 0	3Q	△ 2	3Q	3
	4Q	△ 1	4Q	△ 0	4Q	△ 1	4Q	7
		▲ 7		▲ 2		+ 3		

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# ライフサイエンス事業（日本農薬）

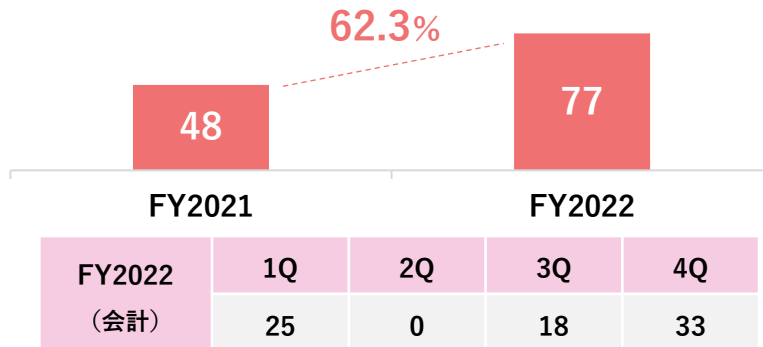
## ◆ 売上高

(単位：億円)



## ◆ 営業利益

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

## 売上高の主な要因（対前年度）

- ・国内でコルテバ社製品の販売を開始し、国内の売上高は前期を上回った。
- ・世界最大の農薬市場であるブラジルで主要作物の作付面積が拡大し、農薬販売が拡大。

## ◆ 農薬

好調

ブラジル サトウキビ用除草剤  
北米 棉向け殺菌剤  
欧州 ばれいしょ向け 除草剤  
日本 コルテバ社製品

## ◆ 医薬品

堅調

爪白癬分野  
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

## 営業利益の主な要因（対前年度）



A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

## 2. 2023年度 連結業績予想

世界経済

世界的なインフレの長期化、地政学リスクを背景に景気減速感が強まっている

セグメント	マーケット	市場トレンド		関連製品
		2022年度 FY21⇒FY22	2023年度 FY22⇒FY23	
化学品	自動車	UP		樹脂添加剤（添加剤、可塑剤、塩ビ用安定剤等） 機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤等）
	建材	DOWN	FLAT	機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤等）
	半導体			情報・電子化学品（高誘電材料、光酸発生剤、回路形成材料、実装材料等） 機能化学品（低塩素エポキシ樹脂、高純度過酸化水素、過硫酸塩類等）
	ディスプレイ			情報・電子化学品（光硬化樹脂、光重合開始剤、樹脂BM、回路形成材料等） 機能化学品（低塩素エポキシ樹脂、過硫酸塩類等）
	化粧品			機能化学品（化粧品原料、プロピレングリコール類等）
食品	量販店・コンビニ （パン・菓子・デザート）			食品（マーガリン、ショートニング、ホイップクリーム、フィリング等）
	観光・外食産業 （土産菓子・ファストフードほか）			
ライフサイエンス	農業			農薬（水稲用殺虫剤・殺菌剤、園芸用殺虫剤・殺菌剤、除草剤等）



# 2023年度 連結業績予想

2023年度 連結業績予想

(単位：億円)

	2023年度			2022年度 実績	増減	増減率 (%)
	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	2,020	2,240	4,260	4,033	226	5.6
営業利益	150	210	360	323	36	11.2
経常利益	147	208	355	325	29	9.0
当期利益	89	121	210	167	42	25.2
1株利益 (円/株)	86.7円	118.0円	204.7円	163.3円	41.4円	
配当金 (円/株)	40円	40円	80円	70円	10円	

		2023年度上期の前提	2022年度実績
為替	円/\$	130.00	135.45
	円/€	138.00	140.99
ナフサ	円/KL	67,000	76,625

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

# 2023年度 連結業績予想（セグメント別）

2023年度 連結業績予想

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	2,020	2,240	4,260	4,033	226	5.6
化学品	1,117	1,172	2,289	2,117	171	8.1
樹脂添加剤	567	573	1,140	1,113	26	2.4
情報・電子化学品	200	235	435	363	71	19.6
機能化学品	350	364	714	640	73	11.5
食品	417	450	867	825	41	5.1
ライフサイエンス	450	590	1,040	1,020	19	1.9
その他	36	28	64	70	△ 6	△ 8.8
営業利益	150	210	360	323	36	11.2
化学品	129	140	269	262	6	2.4
樹脂添加剤	45	45	90	92	△ 2	△ 2.4
情報・電子化学品	53	64	117	110	6	5.5
機能化学品	31	31	62	59	2	4.3
食品	5	8	13	▲ 24	37	-
ライフサイエンス	14	59	73	77	△ 4	△ 6.3
その他	2	3	5	7	△ 2	△ 30.6

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

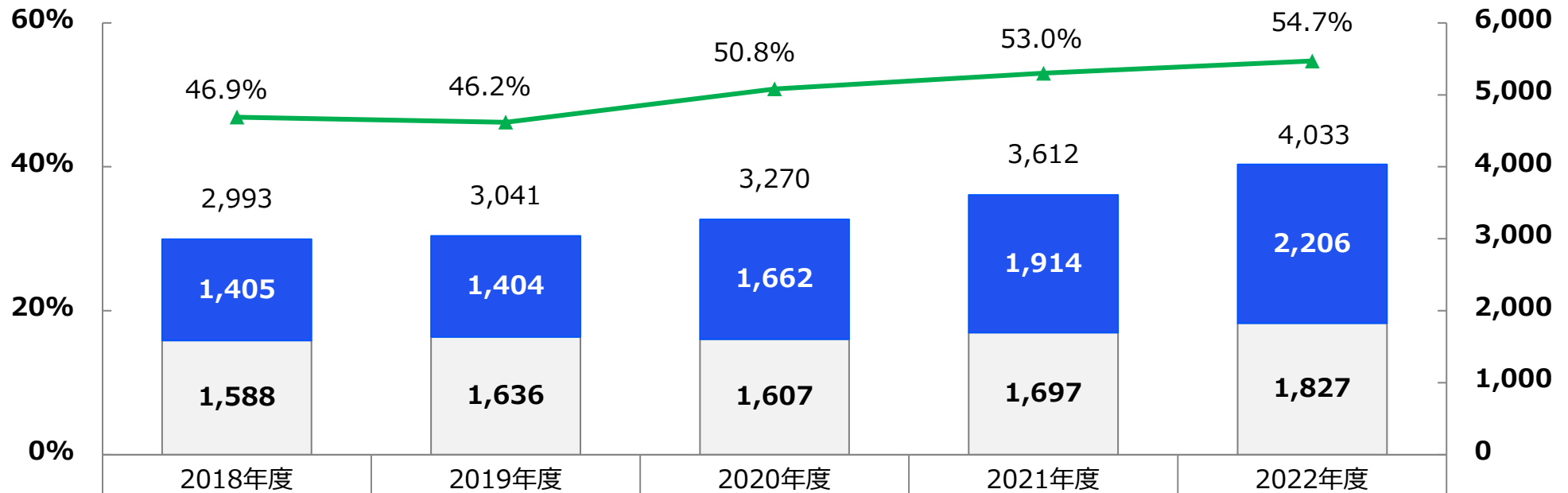
## セグメント別のプラス要因・リスク要因

- は当社に特有の事項
- ・は市況

	プラス要因	リスク要因（懸念材料）
樹脂添加剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車・家電市況の緩やかな回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サプライチェーンでの在庫調整の長期化</li> <li>・ 原燃料価格の高止まり</li> </ul>
情報・電子化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先端半導体の需要継続（微細化の進展）</li> <li>・ ディ스플레이市況の緩やかな回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半導体の生産調整（2023年度前半）</li> </ul>
機能化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車・化粧品市況の緩やかな回復</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原燃料価格の高止まり</li> </ul>
食 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ COVID-19の5類移行（人流回復）</li> <li>● 価格改定の進展（価格バランスの改善）</li> <li>● デリプランツシリーズの販売拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消費者の低価格・節約志向の継続</li> <li>・ 最終商品のダウンサイジング</li> <li>● 為替の円安進行</li> </ul>
ライフサイエンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブラジルなど、海外農薬需要の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農薬登録費用の増加</li> </ul>

# ご参考 | 海外売上高

(単位：億円)



■ 海外売上高	1,405	1,404	1,662	1,914	2,206
□ 国内売上高	1,588	1,636	1,607	1,697	1,827
▲ 海外売上高比率	46.9%	46.2%	50.8%	53.0%	54.7%
売上高	2,993	3,041	3,270	3,612	4,033

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

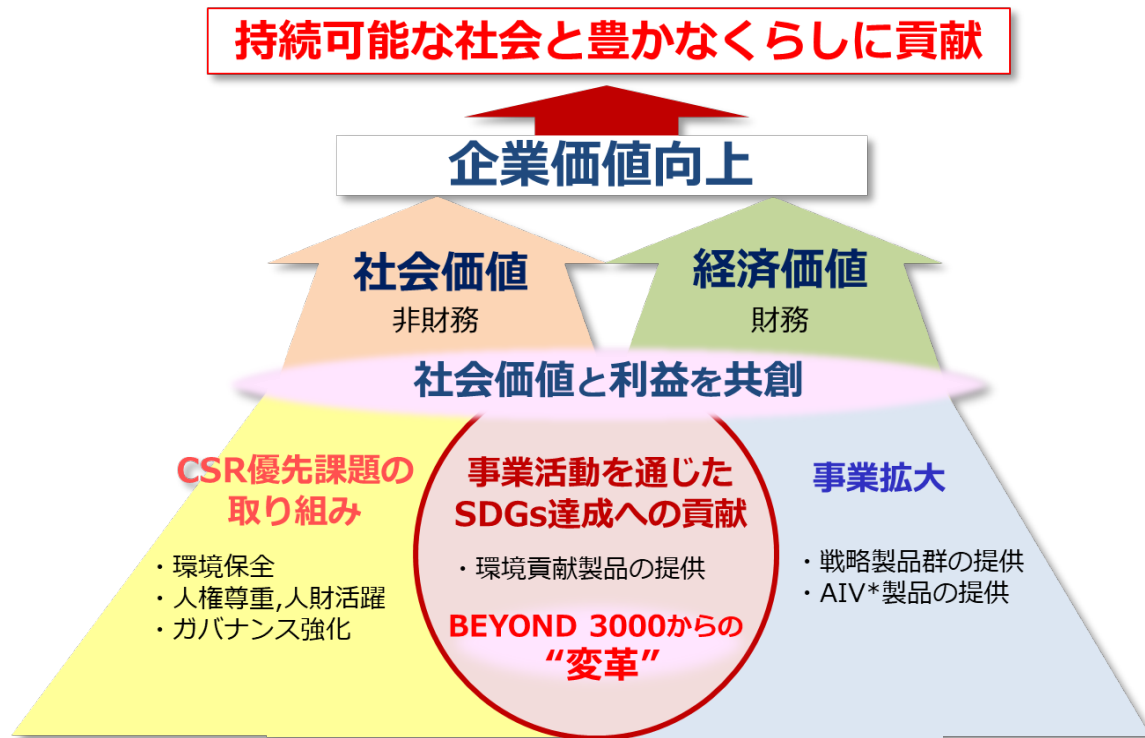
A decorative border consisting of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

### 3. 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

# 『ADX 2023』の概要

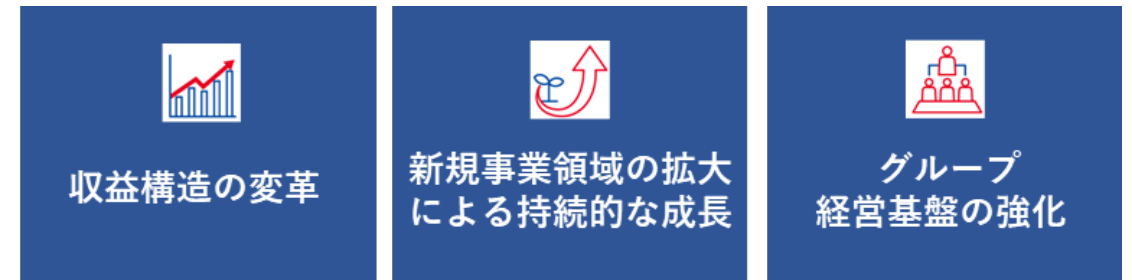
基本方針

新しい社会環境に対応する経営基盤へ変革し、利益を重視した持続的な成長を目指す

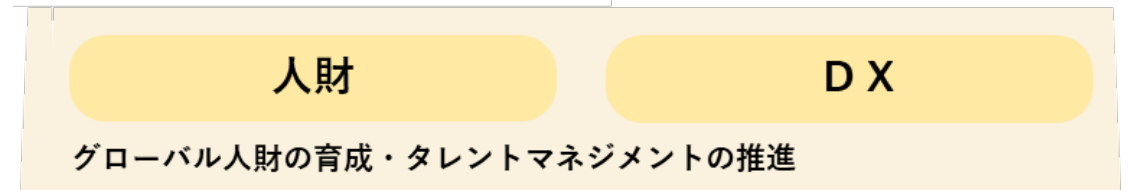


\* AIV : ADEKA Innovative Value (社会の期待に応える価値創出)

基本戦略



基本戦略を支える基盤



# 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

	2021年度 実績 (中計 初年度)	2022年度 実績 (中計 2年目)	2023年度 予想 (中計 最終年度)	2023年度 目標 (中計 最終年度)
営業利益	340億円	323億円	360億円	420億円
R O E	9.9%	6.6%	8.0%	9%
設備投資額	146億円/年	204億円/年	155億円/年	500億円/3カ年
		505億円/3カ年		
配当性向	30.5%	42.9%	39.1%	30%以上維持
年間配当予想	70円/1株	70円/1株	80円/1株	

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

# 営業利益目標に対する進捗状況（セグメント別）

(億円)

	2023年度 (最終年度目標)	2022年度 実績 (中計2年目)	進捗率 (%)	2023年度 業績予想 (最終年度)	目標との差異
営業利益	経営目標 420	323	77.1	360	△ 60
化学品	330	262	79.6	269	△ 61
樹脂添加剤	115	92	80.2	90	△ 25
情報・電子化学品	145	110	76.5	117	△ 28
機能化学品	70	59	84.9	62	△ 8
食品	5	▲ 24	—	13	8
ライフサイエンス	80	77	97.4	73	△ 7

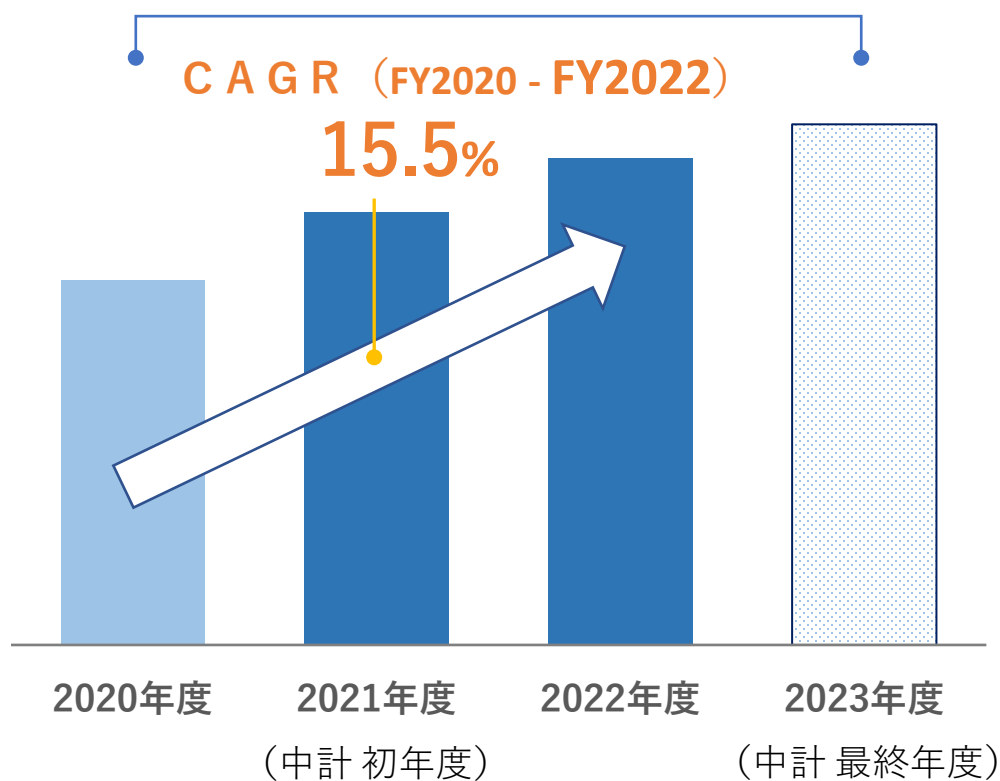
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



# 基本戦略「収益構造の変革」／戦略製品

## 戦略製品（売上高）

目標 CAGR **12%**以上  
(FY2020 - FY2023)



## 計画を上回った製品（一例）

情報・電子化学品

半導体

A L D材料（高誘電材料等）

樹脂添加剤

家電

イントロメッセント系難燃剤

機能化学品

自動車

潤滑油添加剤

# 基本戦略「収益構造の変革」／新製品

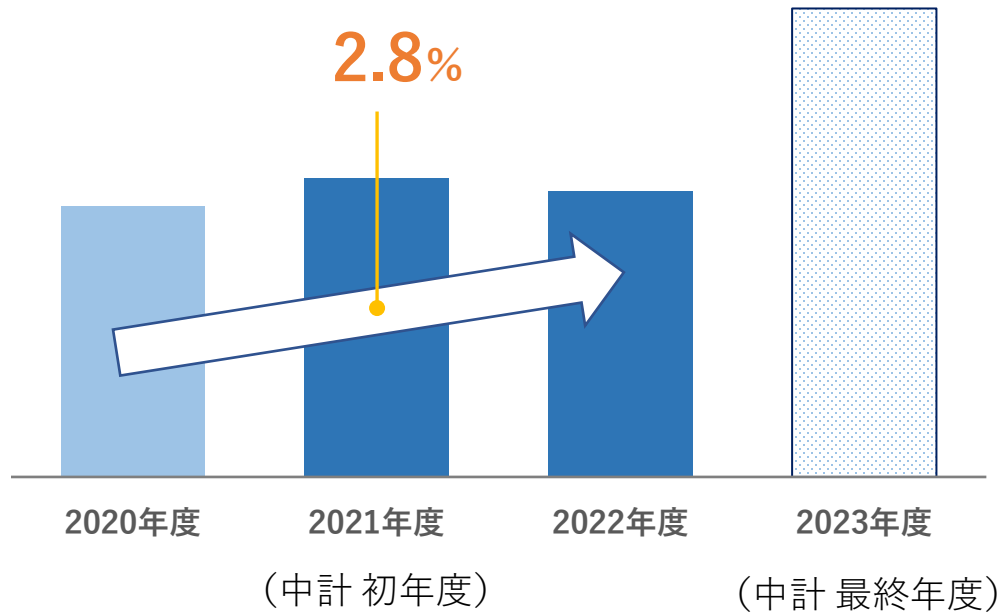
## 新製品（売上高）

目標

CAGR **20%**以上  
(FY2020 - FY2023)

CAGR (FY2020 - FY2022)

**2.8%**



## 全セグメントにおいて計画に未達

### 計画との乖離が大きかったセグメント

情報・電子化学品

食品

ディスプレイ関連

ホイップクリーム

背景・要因

テレビ・スマホ・PCなどの  
巣ごもり需要消失

低価格志向に伴う  
高付加価値品の需要減

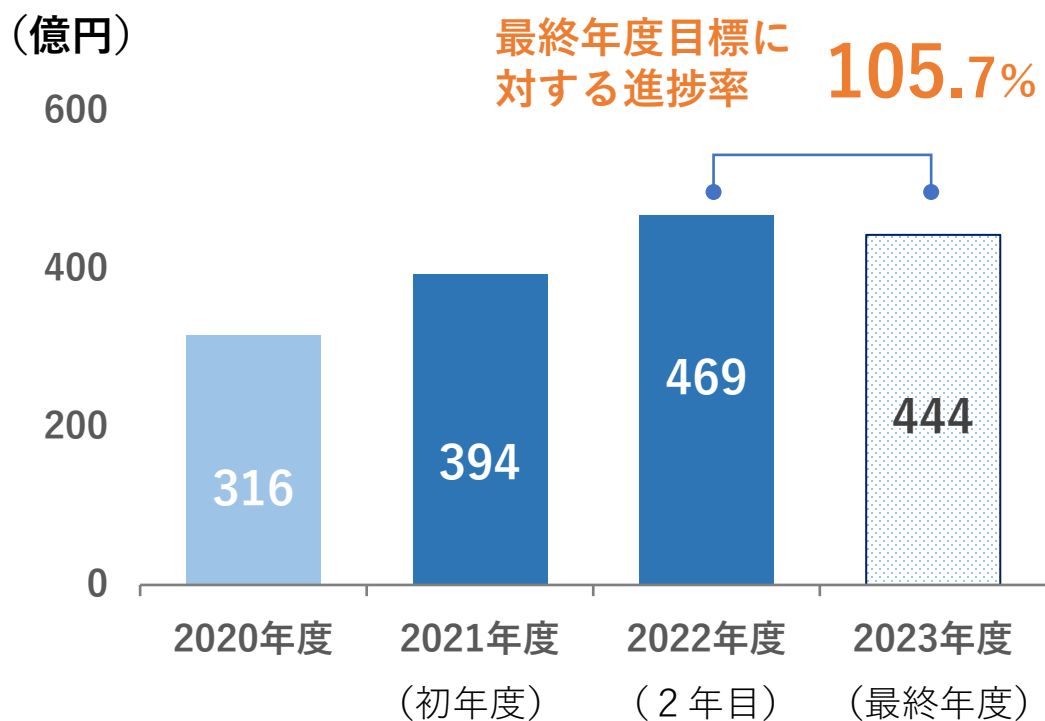
進展

EUVレジスト向け  
光酸発生剤

プラントベースフード

## 環境貢献製品（売上高）

目標 **444億円**（2020年度比 1.4倍）



## 計画を上回った製品（一例）

### 機能化学品

省エネ・CO<sub>2</sub>排出量低減

自動車

潤滑油添加剤

大気環境保全（塗料の水系化によるVOC\*排出量低減）

住宅・インフラ

水系樹脂

### 食品

食品ロス削減

製パン・製菓

業務用マーガリン（マーベラス等）

### 樹脂添加剤

資源・環境の持続的使用、省エネ

インフラ

重金属フリー安定剤

\* VOC ( Volatile Organic Compounds ) : 揮発性有機化合物

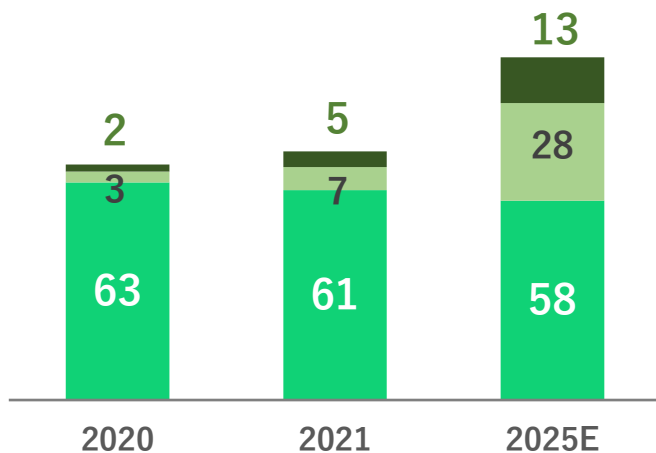
# 自動車

## 市場動向

- ✓ 2022年：前年比5%増で回復基調  
(地域により回復にばらつき)
- ✓ 2023年：生産台数は緩やかな回復

### ◆ 世界の自動車生産台数推移 (百万台)

■ 内燃機関 ■ HEV+PHEV ■ EV+FCV



\* MarkLines、2025Eは当社推定値

## 樹脂添加剤

車体軽量化 (バンパーなど外内装部材に使われるポリオレフィン向け添加剤)

### 核剤 アデカスタブ NAシリーズ

- 米国で販売拡大、アジアは自動車減産の影響を受け販売減少

米国での開発強化と販売強化 (米州)、アジアでの採算性改善

## 機能化学品

燃費向上、CO<sub>2</sub>排出低減 (エンジン内部の摩擦・摩耗を低減)

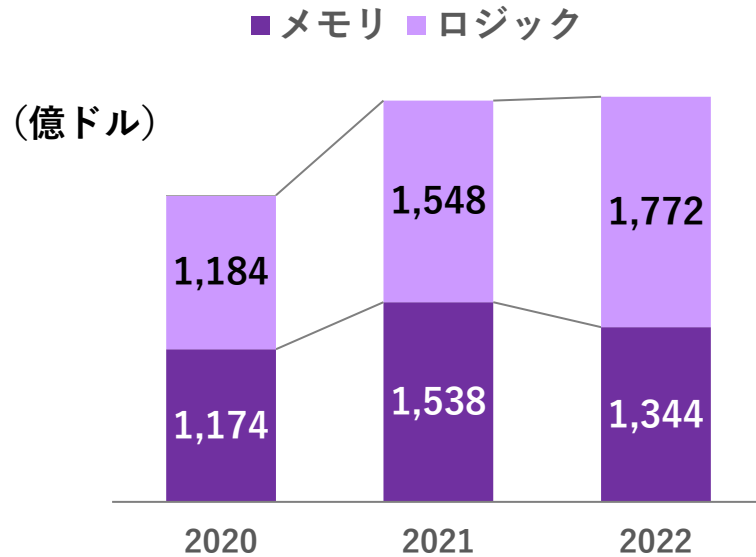
### エンジンオイル用潤滑油添加剤 アデカサクラルーブシリーズ

- 米国でアフターマーケットオイル向けの提案強化、採用拡大
- 配合ノウハウ・試験データを生かした販売強化(中国・米国)
- オイルパッケージメーカーとの協業体制確立

## 市場動向

- ✓ 2022年：前年比4%伸長
- ✓ 2023年：市況悪化の影響が続きマイナス成長の見通し

### ◆ 世界 半導体市場規模統計



\* WSTS(World Semiconductor Trade Statistics) 統計資料

## 情報・電子化学品

### ● 積極的な設備投資

当初計画値

95億円 / 3カ年

< 中計2年目までの進捗 >

**120%超**の投資実行 (114億円\*)

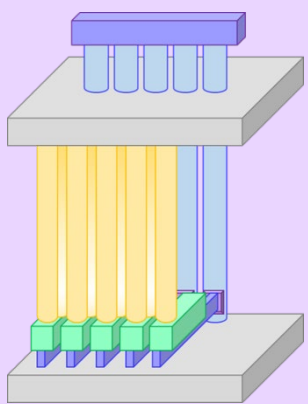
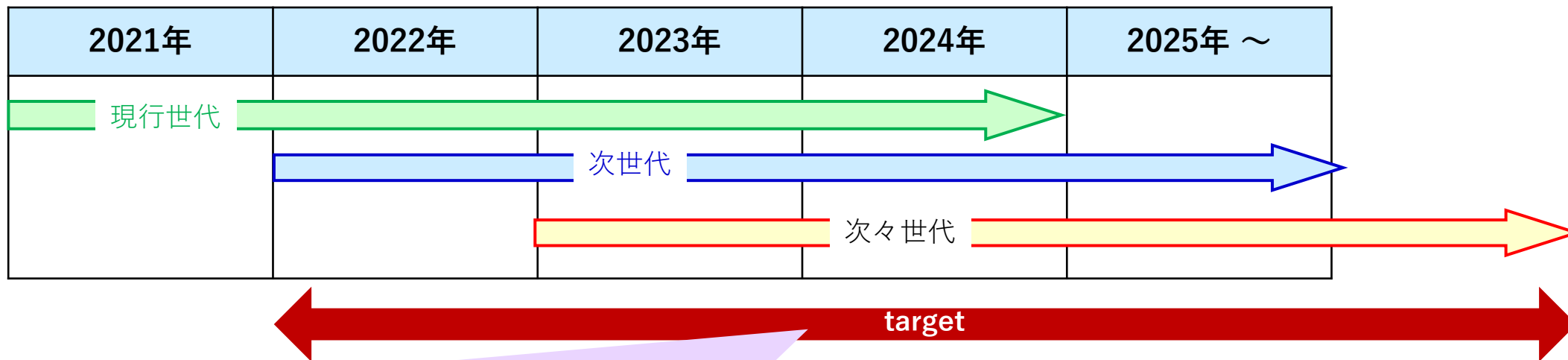
\*認可ベース含む

### ▼ 『ADX 2023』 期間 (2021-2022年度) の主な設備投資

デバイス	当社材料	国・地域	投資内容	生産能力/規模	投資額 (億円)	営業運転/稼働
ロジック メモリ	光酸発生剤	日本	生産能力増強 (最先端向け設備増強)	2倍以上	27	23年8月
ロジック	ALD材料	台湾	新プラント建設 (最先端向け)	新設	25	24年4月
メモリ	高誘電材料	韓国	生産能力増強	2倍以上	23	24年度中
メモリ	先端材料	韓国	アデカ코리아研究開発 センター拡大移転	7倍 *延床面積	13	23年8月
メモリ	高誘電材料	韓国	生産設備増強 (製品ラインナップ拡充)	新設	21	23年度中

# 半導体の微細化への対応（高誘電材料）

**メモリ** DRAM：DDR 5に移行（低電力、高速化）⇒微細化 + 構造変化



DRAMの構造変化に伴いHigh-kに加えて新たな材料ニーズが発生

高誘電材料 アデカオールセラシリーズのラインナップ拡充

2023年  
4月決定



ADEKA KOREA CORP. 生産設備増強  
投資金額：21億円 / 2023年度中営業運転開始

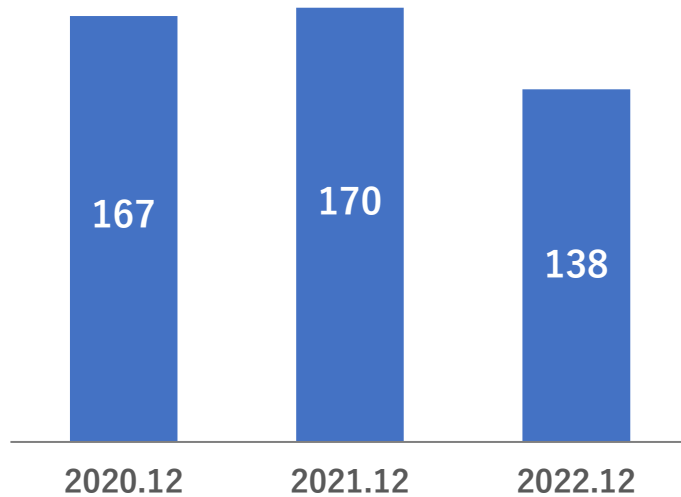
# 建築・インフラ

## 市場動向

- ✓ 2022年：金利上昇で販売急減
- ✓ 2023年：低水準の見通し

### ◆ 米国 住宅着工件数推移 (年率・季節調整済)

(万戸)



\* 米 商務省公表データ

## 樹脂添加剤

窓枠・サッシの「樹脂化」に応える素材で、住宅の省エネ化に貢献

### 塩ビ用安定剤 アデカスタブシリーズ

- 北米で住宅内装材の需要が減少し、塩ビ用安定剤の販売減少

- 日本：住宅内装材向けの販売拡大  
(住宅「省エネ化」の補助金制度に伴う需要増)
- 原料のグローバル購買推進

## 機能化学品

水系塗料・コーティングや、食品包装の粘・接着用途

### 反応性乳化剤 アデカリアソープシリーズ

- インドの建築塗料向けで販売拡大、中国は建築不況で計画遅れ

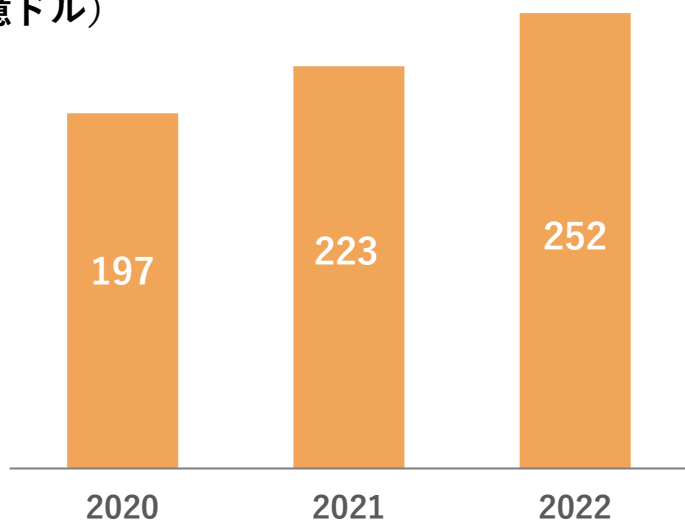
引き続き、中国、インド、米国市場での**拡販に注力**

市場  
動向

- ✓ 2022年：市場は順調に拡大
- ✓ 今後：2022-2029年度のCAGR 13.6%

◆ 世界 代替乳市場規模推移

(億ドル)



\* Fortune Business Insights

食品

気候変動問題や食料問題の解決。健康やエシカル消費など食志向の多様化に貢献

プラントベースフード デリプランツシリーズ

- 催事等での市場活性化・PR強化（伊勢丹新宿店の限定メニューに採用）
- 国内のホテル・外食・カフェ等での採用獲得（内定件数が増加）

- 中国、シンガポール、マレーシアで販売開始
- 海外での新規代理店、生産協業先の探索（継続）

食品

生産ロス削減、消費期限の延長による食品ロス削減（製パン等）

機能性練込油脂 マーベラスシリーズ

- 新製品「マーベラスCNC」を開発（2023年度 RISU BRAND新製品）
- ▶ 機能成分を高濃度化、少量添加で十分な効果を発揮

国内外でのシリーズ拡販と領域拡大



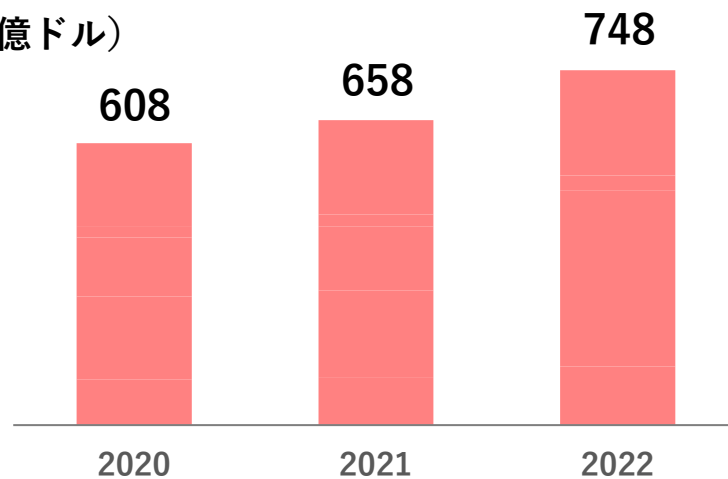
## 市場動向

- ✓ 2022年：世界的に増加傾向
- ✓ 今後：2027年に2022年比8.5%増

### ◆ 世界 農薬市場規模推移

2022年は南米・北米・アジア市場が成長

(億ドル)



\* Agbio Investor / 日本農薬開示資料をもとに当社で作成

## スマート農業への取り組み

### レイミーの病害虫雑草診断

農作物に被害を及ぼす病害虫や雑草をAIが画像診断し、有効な薬剤情報を提供



AI画像診断アプリとして

**Only 1・No.1** を目指し、グローバルに展開

## 生物農薬・作物保護資材分野への領域拡大

2023年4月3日

Nichino Europe Co., Ltd. による Interagro (UK) Limited の100%株式取得

生物農薬・作物保護資材の技術確立、早期上市を目指す

# 主な設備投資

樹脂添加剤

UAE

ワンパック顆粒添加剤の  
設備増強

2022年12月 営業運転開始

情報・電子化学品

台湾

先端ロジック半導体向け材料の  
新プラント建設

2024年4月 営業運転開始予定

情報・電子化学品

韓国

先端半導体メモリ向け高誘電材料の  
増産&設備増強

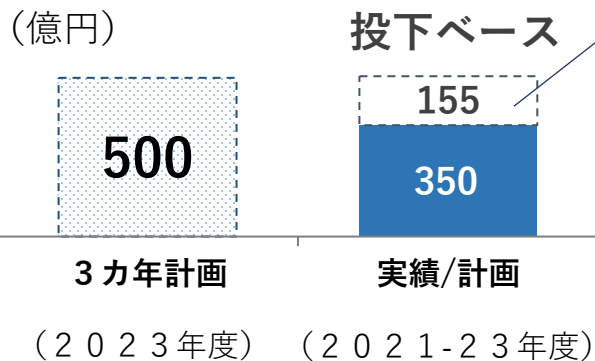
増産：2024年度中 営業運転開始予定  
設備増強：2023年度中 営業運転開始予定

R&Dセンター拡大移転（水原→華城）

2023年8月 開設予定

## 設備投資

計画 **500億円** (3カ年)



2023年度計画

ライフサイエンス

インド

水稲用殺虫剤の設備増強  
(マルチパーパスプラント)

2023年4月 竣工

日本

情報・電子化学品 千葉工場

先端 フォトレジスト向け光酸発生剤など  
半導体周辺材料の増産投資

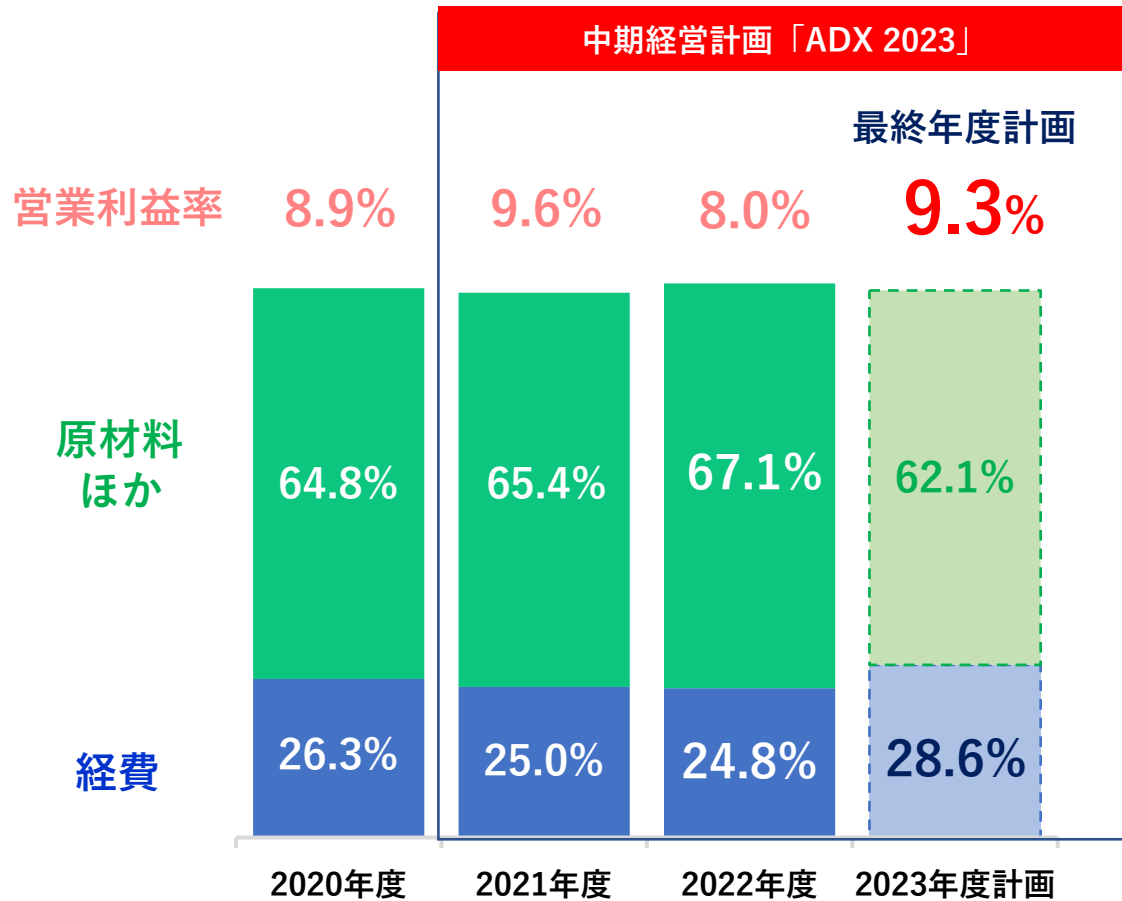
2023年8月 稼働予定

機能化学品 三重工場

エポキシ樹脂接着剤の設備増強

2023年度中 営業運転開始予定

## トータルコストの適正管理、足腰の強い収益構造へ



### 『ADX 2023』の取り組み

グローバル購買の推進

生産技術の向上に向けた  
分科会発足・テーマ推進

物流倉庫等の  
共同利用・共同配送

自動化の推進

\* A D E K A グループ内

販管費等の固定費圧縮

工場での製造効率化

人事ローテーションの活用

# 基本戦略「新規事業領域の拡大による持続的な成長」

## 成長ドライバーとして、4つの分野で新製品開発と事業化を推進

新製品開発



### ライフサイエンス



- 脱細胞化再生医療材料
- サステナブル素材
  - 自然由来原料・バイオマス原料使用製品（化粧品原料など）
  - RSPO等認証製品



### 環境



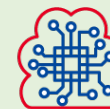
- 樹脂リサイクル
- プラントベース食品
- 次世代複合材料



### エネルギー



- 次世代電池材料  
(グラフェン、SPAN等)
- 自動車向け新規樹脂材料
- 代替燃料の周辺材料
- 風力発電向け材料



### 次世代ICT



- IoT周辺材料
- 半導体周辺材料
- ディスプレイ関連材料

将来に向けた探索研究

新領域

カーボンニュートラル

水素社会

未利用資源の活用

積極的にM&A、アライアンスを推進し、事業ポートフォリオの拡充と最適化を図る

# エネルギー：グラフェン

## 株式会社インキュベーション・アライアンス（InALA）の株式取得

異なるタイプ・特長のグラフェンに関する  
技術やノウハウを融合



研究開発力の強化・領域拡大を図り、事業化を加速

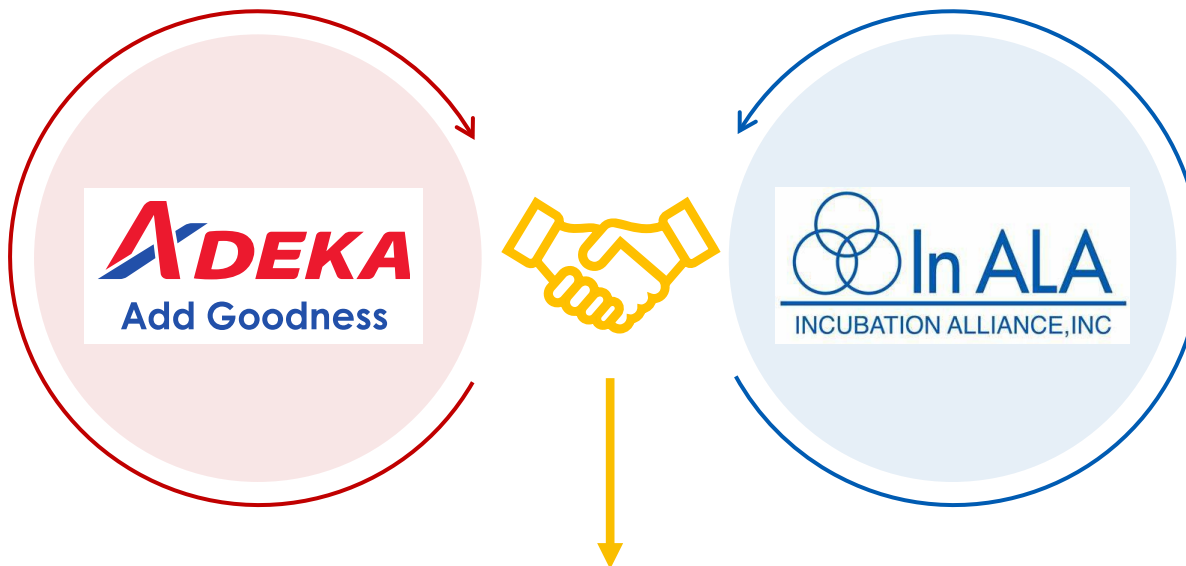
### ADEKAのグラフェン

#### 用途

リチウムイオン二次電池  
(導電助剤)

#### 特長

高品質（低欠陥）・高生産性



### InALAのグラフェン

#### 用途

医療用装置など  
(放熱部材など)

#### 特長

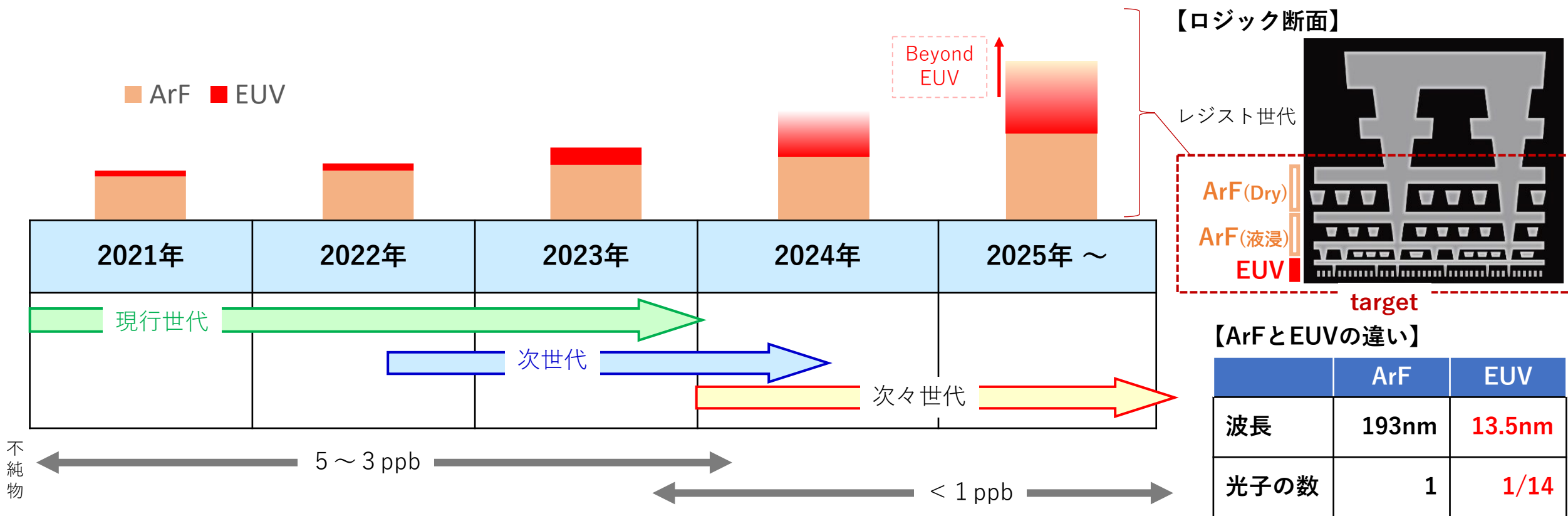
世界初

無基板・無触媒の直接合成で高純度  
高い熱伝導・熱伝導の方向制御

事業化を推進し、グラフェンメーカーとしての地位を確立していく

# 次世代 ICT：EUVレジスト向け光酸発生剤の開発を加速

ロジック 低電力、高速化ニーズ⇒微細化プロセス進化（EUV露光）+ 構造変化（GAA\*）



微細化進行に伴い、EUV露光が増加⇒

✓ 対応する光の波長と感度に変化

✓ メタル（品質）管理が厳格化

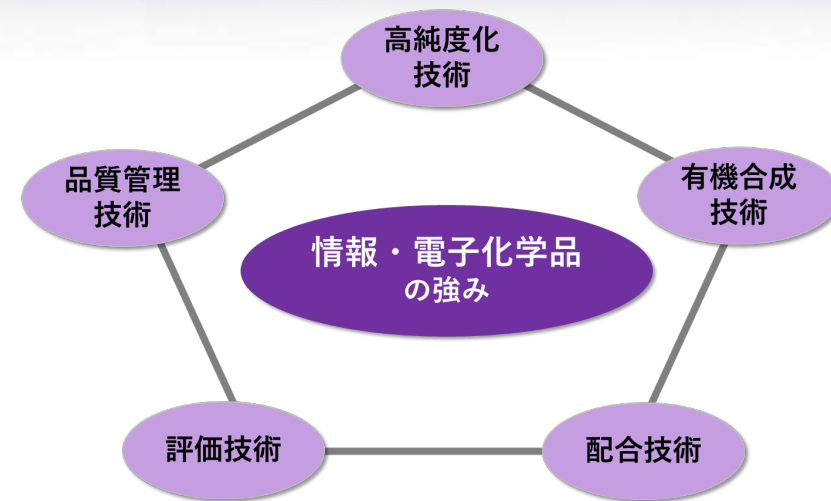
\*GAA（Gate-All-Around）：3ナノ以下の超微細回路に導入されるトランジスタ構造

# 光酸発生剤（PAG）の設備投資

## 光酸発生剤 アデカアークルズシリーズ

先端半導体リソグラフィ工程のフォトレジストに使われる開始剤

- A D E K A 情報・電子化学品の強みを結集した素財
- 優れた光制御技術と高純度・品質管理技術で、技術革新と厳格化が求められる E U V 向けに最適



2023年  
8月



千葉工場

生産能力増強設備 稼働開始

投資金額

27 億円

延床面積

6 倍

生産能力

2 倍以上

- ✓ 最先端プロセス技術&設備
- ✓ 高い品質管理能力  
(1ppb未満低メタル管理)
- ✓ 次世代材料の生産設備導入

最先端レジスト向け P A G の世界トップシェア獲得を目指す



# ADEKAグループ「カーボンニュートラルロードマップ」

オールADEKAでアイデアを結集し、

2050年：カーボンニュートラルを目指す

2030年：CO<sub>2</sub> 2013年度比 **46%**削減 (Scope 1+2)

## (1) 事業活動に伴うGHG排出量削減

### エネルギー

- 省エネルギー推進
- 再生可能エネルギーの転換促進
- 再エネ設備の導入・調達

### 事業変革

- GHG削減に資する事業ポートフォリオ再構築と変革
- インターナルカーボンプライシングの活用検討

## (2) 技術・製品の創出によるGHG削減貢献

- サプライチェーン全体におけるGHG排出量の精査
- 持続可能な原料調達の推進
- 物流最適化、環境に配慮した物流の推進

環境貢献製品・技術の提供を通じて、  
GHG 排出量を削減し、脱炭素社会の実現に貢献



# 気候変動問題への対応

2022年9月～

「カーボンニュートラル推進戦略」を策定

2023年5月

T C F D 提言に基づく情報開示を拡充

## 6つの施策を実行

① 製品戦略の見直し

② エネルギー原単位の削減

③ 環境貢献技術の開発

④ 再生可能エネルギーの導入

⑤ G H G 管理精度の向上

⑥ インターナルカーボン  
プライシング\*導入

2023年度～

「再エネ電力証書」  
の入札実行

「トライアル導入」開始

社内炭素価格

15,000 円/t-CO<sub>2</sub>

設定シナリオに基づき、

「**全事業**」について機会とリスクを整理し評価  
(従前は「機能化学品」のみ評価)

設定シナリオ  
(気候変動)

- 移行シナリオ (1.5°C/2°C未満シナリオ)
- 物理シナリオ (4°Cシナリオ)

\*インターナルカーボンプライシング：  
企業内部で独自に炭素に対し価格を付け、  
低炭素投資・対策を推進するため使用する仕組み

# 人財活躍の機会拡大

## ダイバーシティ&インクルージョンの推進

2030年  
KPI

- 人財ポートフォリオの整備  
女性管理職比率 **10%**を目指す(ADEKA単体) ほか
- 従業員満足度、D&I関連教育・研修等

## 健康経営の推進

2030年  
KPI

「健康経営優良法人（ホワイト500）」認定取得

2022年6月

「D & Iプロジェクトチーム」を新設

2022年9月

「健康経営戦略マップ」を策定・実行

## 9つの施策を策定・始動

全体

- ✓ トップメッセージ・活動情報の発信
- ✓ 「アンコンシャスバイアス研修」実施

女性

- ✓ 相談員制度を導入
- ✓ キャリア開発研修を実施

管理職

- ✓ 評価にダイバーシティ項目を反映

管理職

- ✓ 部下へのメンタルケアを意図した「ラインケア研修」を実施

2023年4月～

「勤務間インターバル制度」を試行

対象

裁量労働制  
適用者

インターバル  
時間

**10** 時間

# グループガバナンス・リスクマネジメントの強化

2023年5月

委任型執行役員制度を導入

- 「**経営**」と「**執行**」の分離
- 業務執行の効率化
- 意思決定の迅速化

2022年12月

指名・報酬委員会の委員長を  
社外取締役に変更

指名・報酬委員会委員長

2022年6月

リスクマネジメントの高度化

< 機構改革（改称・分掌見直し） >

**リスクマネジメント委員会**  
(委員長：代表取締役専務)

有事



平時

事業機会の発掘

< 従 前 >

危機管理委員会 ➤ 有事の危機管理

経営体制（取締役\*）

社 内  
50%

社 外  
50%

● は女性

代表取締役  
社長

独立  
社外取締役

\* 2023年6月23日開催の第161回定時株主総会での承認が前提

# グループ会社の再編等

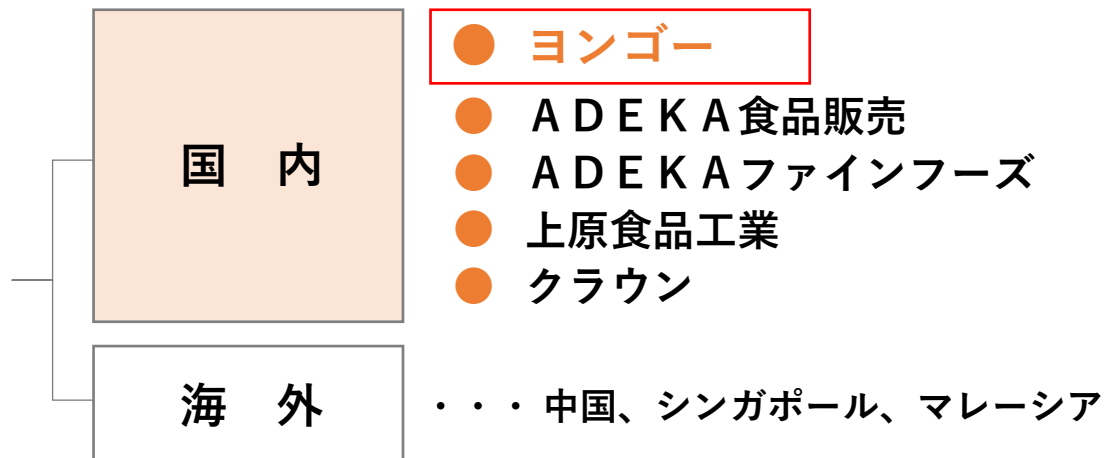
## 食品事業

2023年5月

### 簡易株式交換によりヨンゴーを完全子会社化

- ・ 事業意思決定の迅速化
- ・ グループ経営資源を最大限活用した  
一体的・有機的な経営

●は完全子会社（100%出資）

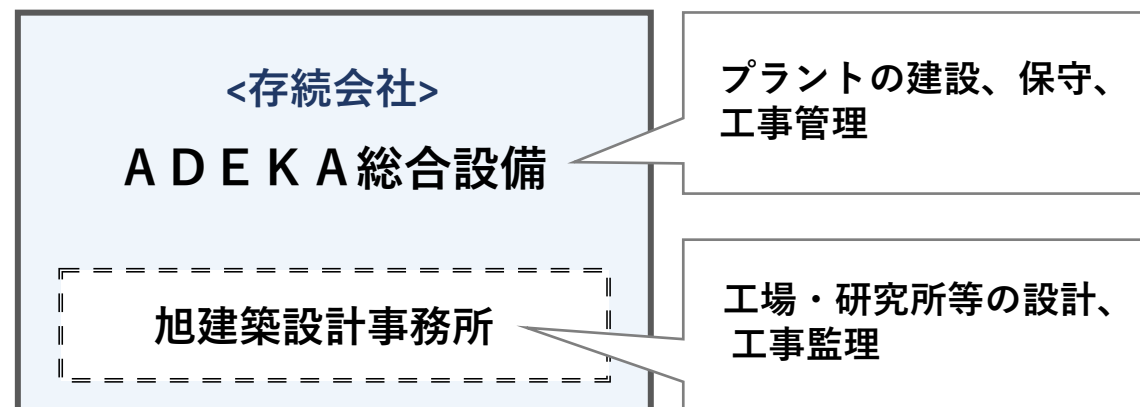


## その他事業

2023年7月（予定）

### ADEKA総合設備が旭建築設計事務所を吸収合併\*

- ・ エンジニアリング事業の合理化・効率化



\* 2023年6月開催の両社株主総会での承認が前提

# 基本戦略遂行を支える基盤：基幹システムの刷新

## 2023年4月より新基幹システム **ABS** 稼働

### 新基幹システムABSとは

統合型基幹システム(販売・生産・購買・在庫管理を管理)と  
 他システム(品質・物流・原価・法令を管理)を連携させたシステム  
 ⇒経営に必要な情報を効率的に一元管理できるシステム

【ABSのシステム構成イメージ図】  
 ABS (ADEKA Business Digitalization System)



### 目的

柔軟性と拡張性を持った  
 基幹システムの刷新

競争力向上に向けた  
 オペレーション層の業務効率化

経営管理の高度化に向けた  
 基盤の構築

ROIC\*活用等

\* ROIC (投下資本利益率) : 企業が事業活動のために投じた資金を使って、利益をどれだけ効率的に稼いだのかを示す指標

# 事業別ROICの試算値（ご参考）

- ・ 2022年度のROIC（投下資本利益率）を試算。
- ・ 次期中期経営計画において、新基幹システムABSを用いた数値精度の向上を図る。

## ■ 2022年度実績

全社：7.6%\*

\* ROIC（投下資本利益率）：営業利益×（1－実効税率）÷投下資本

					(%)
樹脂添加剤	情報・電子	機能化学品	食品	ライフサイエンス	
7	17	6	—	5	

『ADX 2023』  
配当方針

適切な還元を総合的に勘案し安定配当の維持を基本とする考え方のもと、  
**配当性向 30%以上維持**

	中間	期末	年間	前年度比	配当性向 (%)
2022年度実績	35円	35円*	70円*	0円	42.9
2023年度予想	40円	40円	80円	10円	39.1

\* 2022年度の期末配当（35円）は、2023年6月23日開催予定の当社第161回定時株主総会の承認を経て正式に決定する予定です。

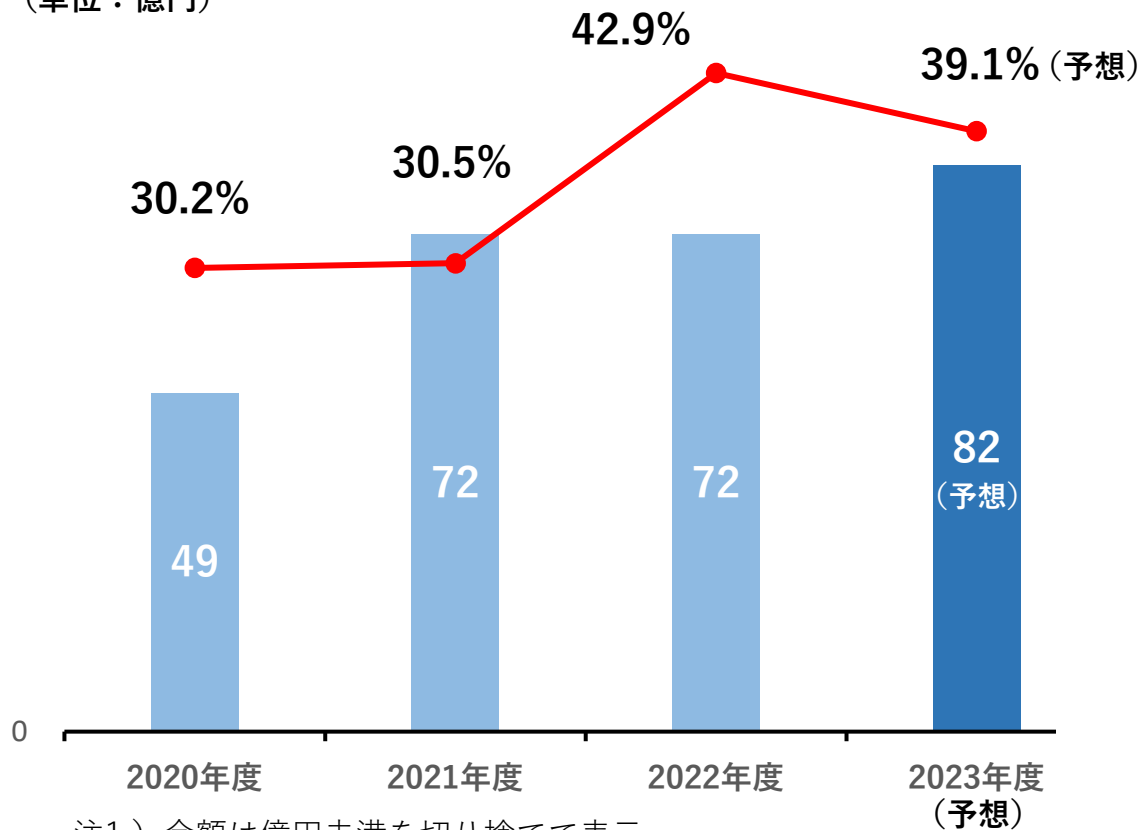
配当「率」と「額」の双方を重視し、業績向上による配当の継続的な引き上げに努めていく

# 配当と自己株式の取得状況

## 配当総額 (棒グラフ) / 配当性向 (折線グラフ)

中期経営計画「ADX 2023」

(単位：億円)



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

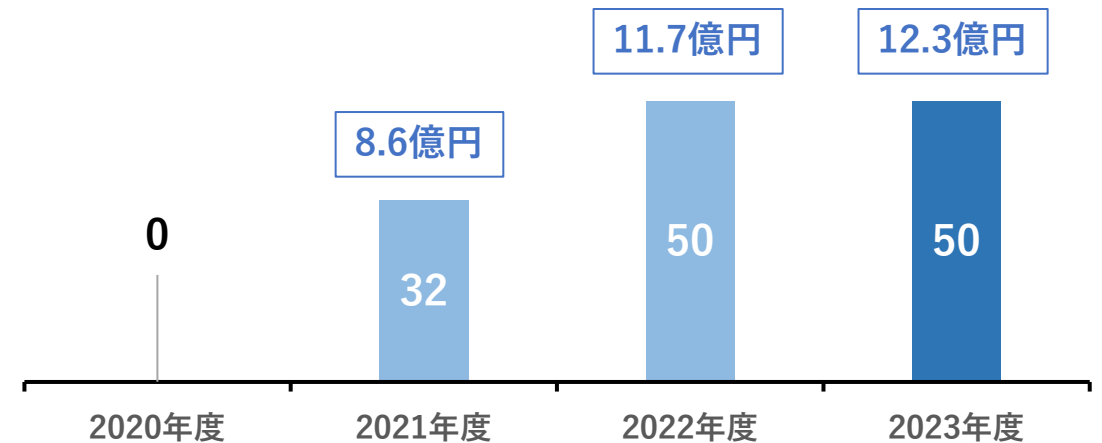
## 自己株式の取得

中期経営計画「ADX 2023」

(単位：万株)

機動的に自己株式を取得

- 取得日：2023年5月23日 (火)
- 取得株式数 (総数)：50万株
- 取得価格 (総額)：12億35百万円





# ご参考 | 売上高 (セグメント別)

■ = 目標水準に到達した項目 (億円)

	2023年度 (最終年度目標)
売上高	4,300
化学品	2,400
樹脂添加剤	1,250
情報・電子化学品	470
機能化学品	680
食品	850
ライフサイエンス	990

2022年度 実績 (中計2年目)	進捗率 (%)
4,033	93.8
2,117	88.2
1,113	89.1
363	77.4
640	94.2
825	97.1
1,020	103.1

2023年度 業績予想 (最終年度)	目標との差異
4,260	△ 40
2,289	△ 111
1,140	△ 110
435	△ 35
714	34
867	17
1,040	50

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

The logo features a stylized letter 'A' on the left, composed of a red upper half and a blue lower half. To the right of the 'A' is the word 'DEKA' in a bold, red, italicized sans-serif font. The entire logo is centered horizontally.

**ADEKA**

**Add Goodness**



2022年度  
**決算説明補足資料**  
取締役執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

# 1-1 連結貸借対照表

(単位：億円)	22/3末	23/3末	増減		22/3末	23/3末	増減
<b>流動資産</b>	2,938	3,154	215	<b>負債</b>	1,784	1,883	99
現金及び預金	842	811	△ 31	流動負債	1,148	1,294	146
受取手形及び売掛金等	1,004	996	△ 8	固定負債	635	588	△ 47
棚卸資産	960	1,167	206	<b>純資産</b>	2,968	3,117	148
その他	130	179	48	株主資本	2,300	2,387	87
<b>固定資産</b>	1,814	1,846	32	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,193	1,194	1	資本剰余金	201	201	△ 0
無形固定資産	168	180	12	利益剰余金	1,880	1,978	97
投資その他の資産	452	471	18	自己株式	△ 12	△ 23	△ 10
				その他の包括利益累計額	199	222	22
				非支配株主持分	469	507	38
<b>資産合計</b>	<b>4,753</b>	<b>5,000</b>	<b>247</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,753</b>	<b>5,000</b>	<b>247</b>

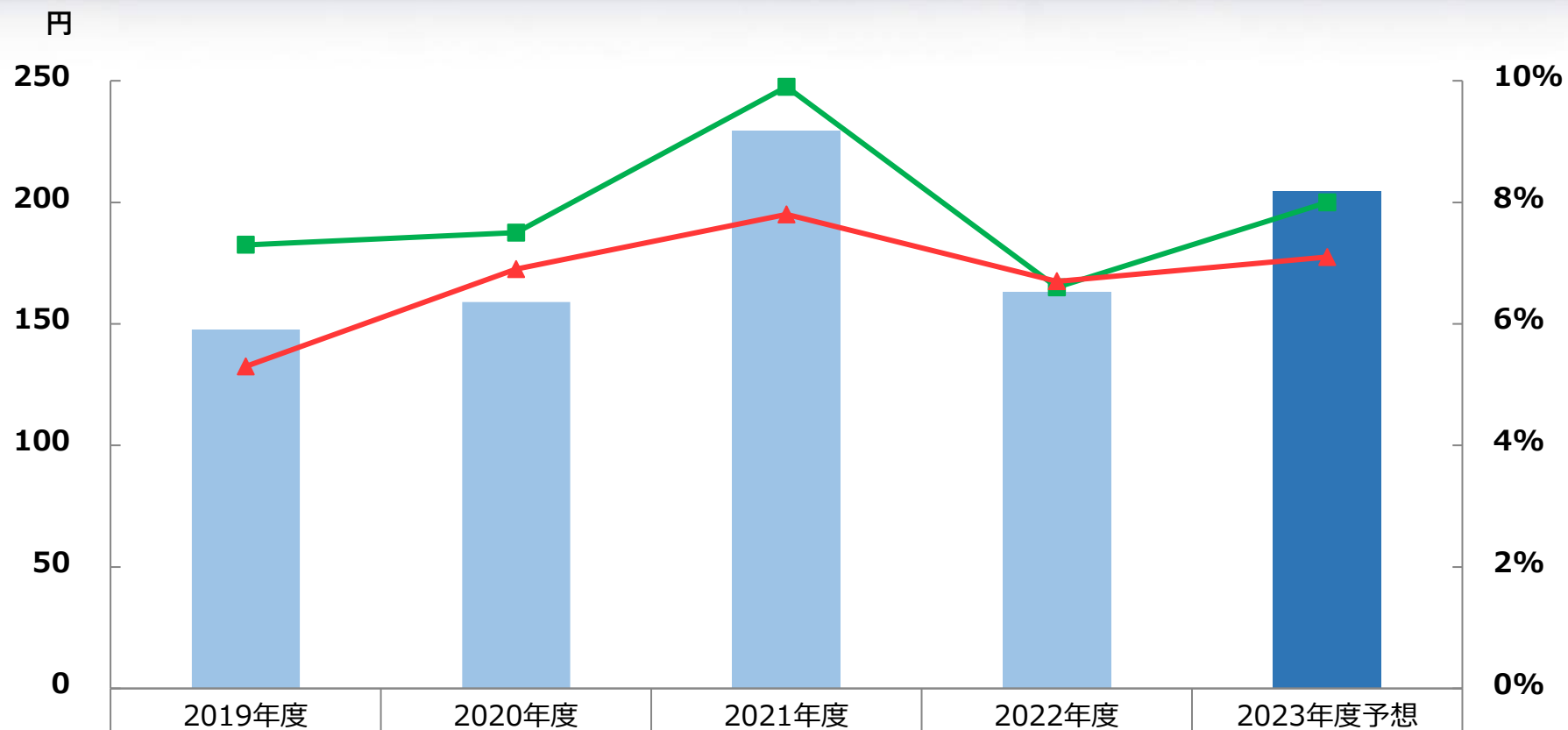
注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示 注2) 22/3末は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

# 1-2 キャッシュフロー計算書 (要約)

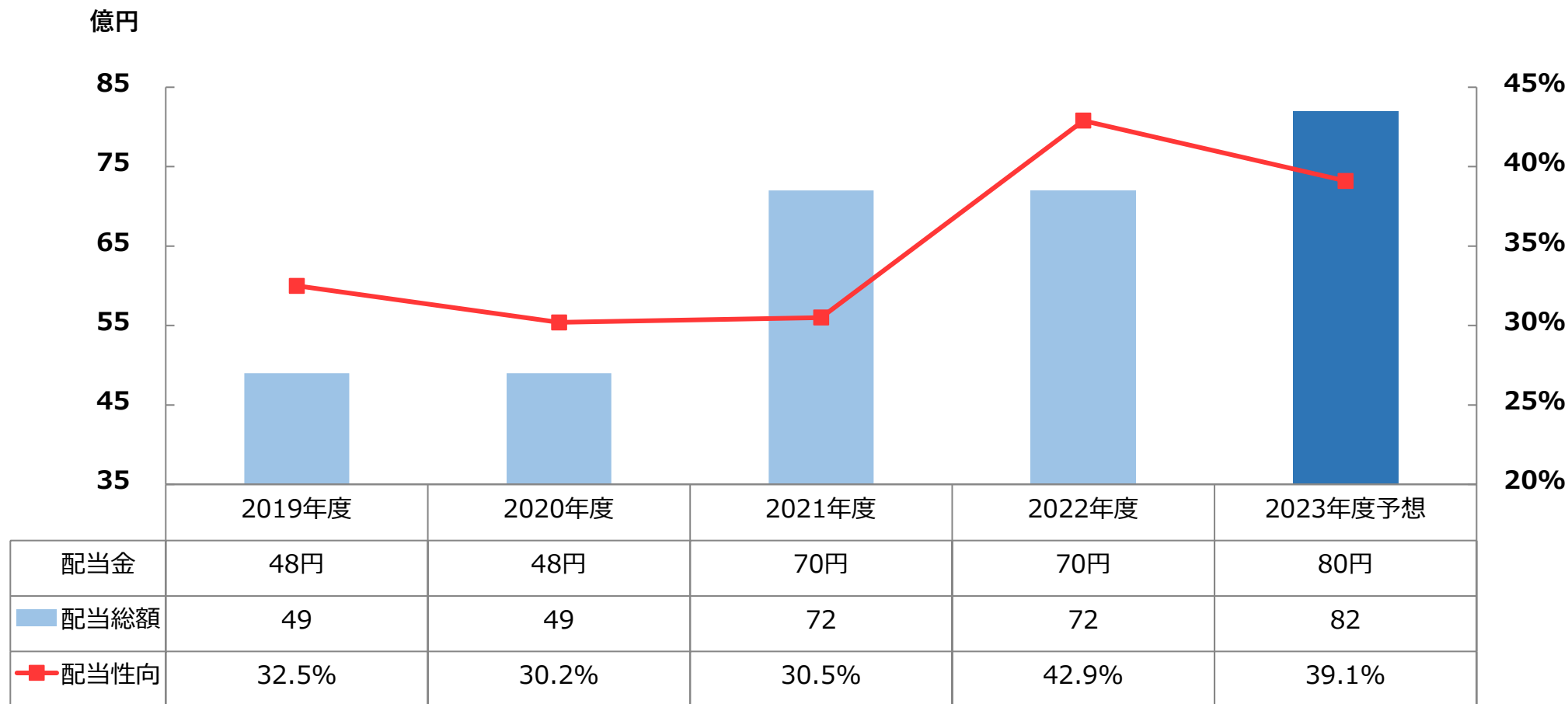
(単位：億円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	210	172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 118	△ 26
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6	△ 32
現金及び現金同等物の期首残高	821	827
現金及び現金同等物の期末残高	827	795

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

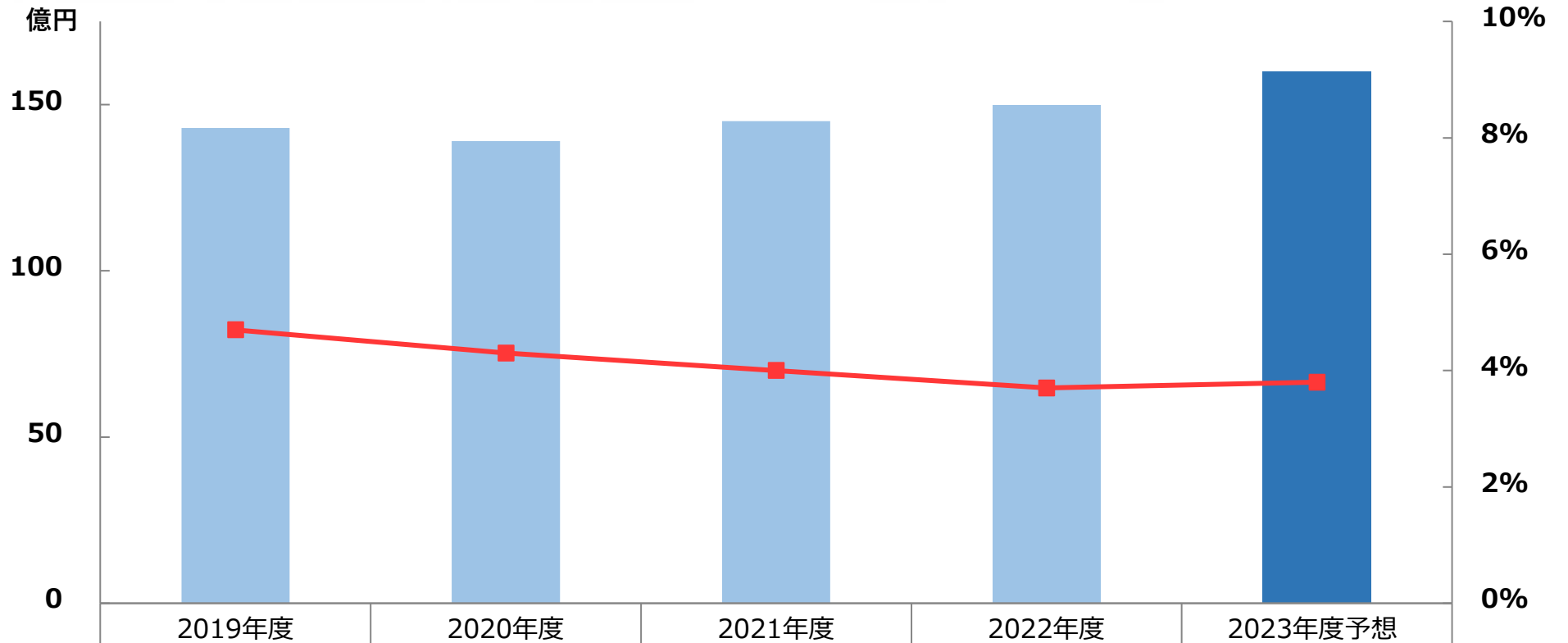


注) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



注1) 配当総額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

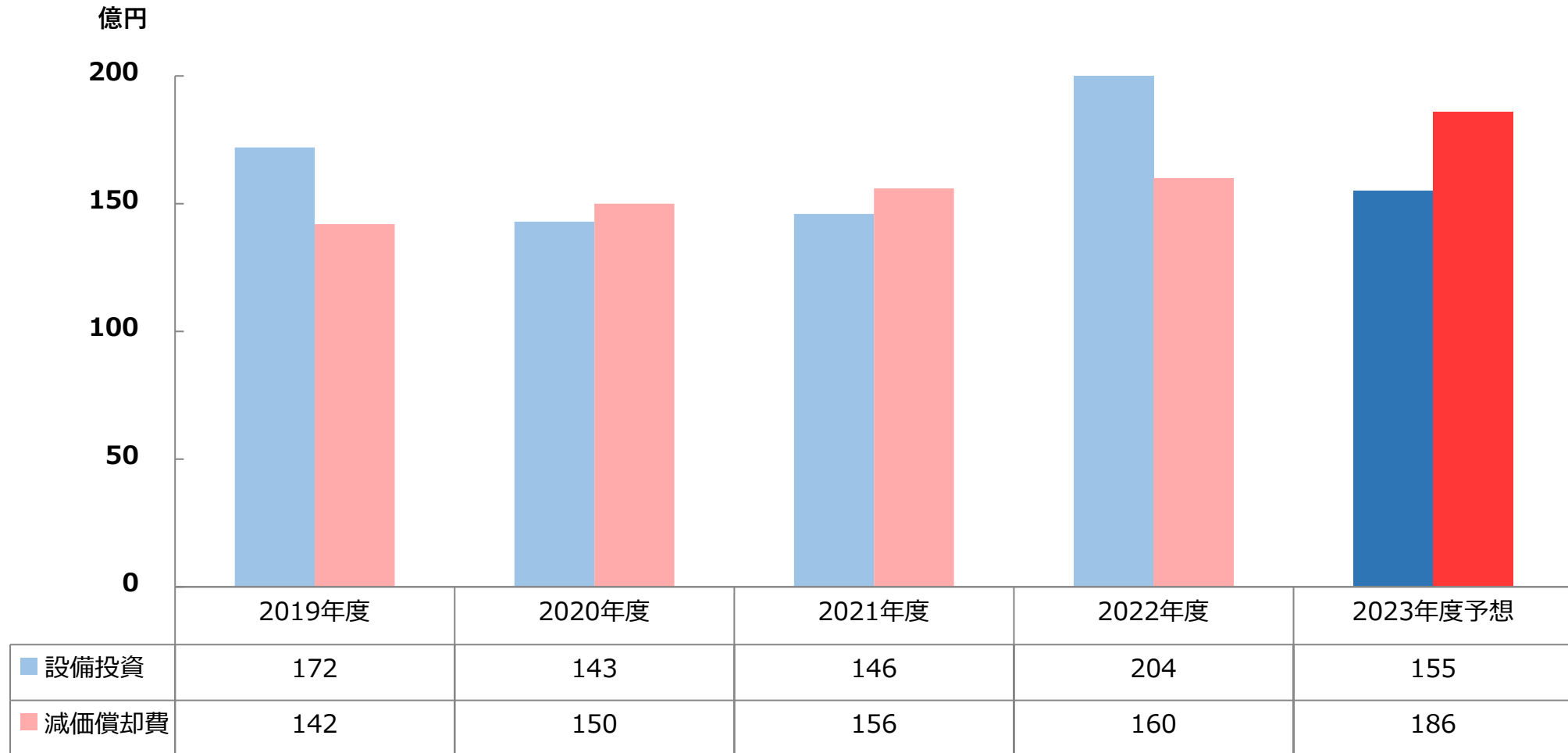


■ 研究開発費	143	139	145	150	160
■ 売上高研究開発費比率	4.7%	4.3%	4.0%	3.7%	3.8%

注1) 研究開発費は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度の売上高研究開発費比率は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

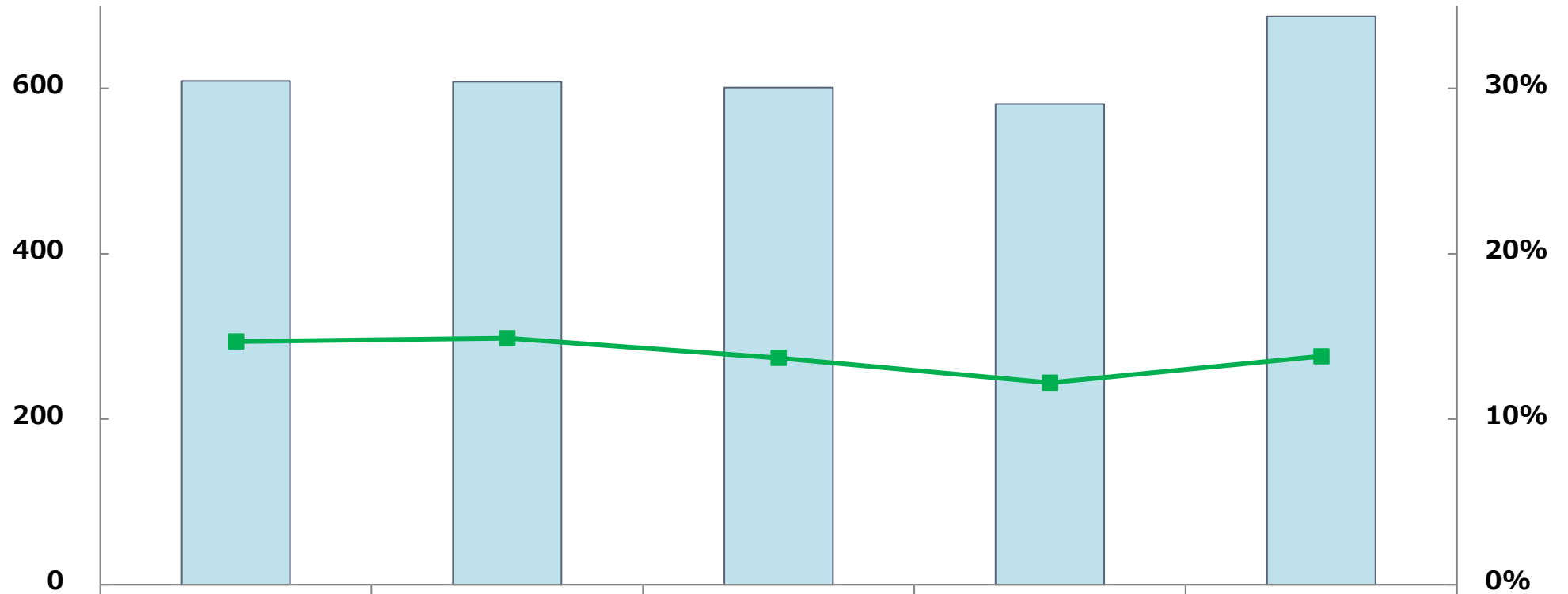




注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

# 2-5 有利子負債

億円



有利子負債	609	608	601	581	687
有利子負債依存度	14.7%	14.9%	13.7%	12.2%	13.8%

注) 有利子負債は億円未満を切り捨てて表示

# 3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2022年度)

■ 単独  
■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2021年度	2022年度	増減	増減率(%)
売上高	1,428	1,532	104	7.3
営業利益	145	96	△ 49	△ 34.1
経常利益	213	184	△ 28	△ 13.5
当期純利益	166	127	△ 38	△ 23.4
1株当たり純利益	160.5	123.4		

国内 (11社)				
	2021年度	2022年度	増減	増減率(%)
売上高	869	948	79	9.1
営業利益	15	15	△ 0	△ 1.8

日本農薬 (10社)				
	2021年度	2022年度	増減	増減率(%)
売上高	801	1,020	219	27.4
営業利益	57	87	29	51.6

海外 (18社)				
	2021年度	2022年度	増減	増減率(%)
売上高	1,838	1,924	85	4.7
営業利益	130	132	1	1.3

連結調整 (消去他)		
	2021年度	2022年度
売上高	△ 1,324	△ 1,392
営業利益	△ 9	△ 7

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

## 3-2 連結子会社概要（国内16社①）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.64	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、販売
食品	(株)クラウン	10百万円	100.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売

## 3-2 連結子会社概要（国内16社②）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

## 3-3 連結子会社概要（海外23社①）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD	3万£	100.00 (間接所有100.00)	欧州における農薬の製造、販売など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（上海）有限公司	2,050万USD	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤など化学製品の製造、販売

# 3-3 連結子会社概要（海外23社②）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農葯股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	385万INR	100.00 (間接所有100.00)	インドにおける農薬の販売、製造、輸出入、普及、開発など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	3億5,000万THB	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	加工油脂の製造、販売
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学品等の販売

## 3-4 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	21.65	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有20.00)	欧州における農薬の製造、販売
NICHINO VIETNAM CO.,LTD	226億8,000万VND	100.00 (間接所有100.00)	ベトナムにおける農薬の製造、販売
タマ化学工業(株)	126百万円	31.07 (間接所有31.07)	有機合成化学品の製造・販売



## 3-5 事業区分別主要製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。